

令和2年度使用中学校用教科用図書
調査研究資料
(報 告 書)

国語	P 1
書写	P 7
社会 (地理的分野)	P 13
社会 (歴史的分野)	P 18
社会 (公民的分野)	P 27
地 図	P 35
数 学	P 38
理 科	P 46
音 楽 (一般)	P 52
音 楽 (器楽合奏)	P 55
美 術	P 58
保健体育	P 62
技術・家庭 (技術分野)	P 67
技術・家庭 (家庭分野)	P 71
英 語	P 75

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

令和 2 年度使用中中学校用教科用図書
調査研究資料
(報 告 書)

国 語

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

令和2年度使用（中学校）教科用図書調査研究報告書

			種目	国語
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1年	2年	3年	東京書籍株式会社	
国語727 新編 新しい国語 1	国語827 新編 新しい国語 2	国語927 新編 新しい国語 3		
観点	調査の結果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な社会問題を取り上げた教材を読み、深く考えることを通して、論理的に思考する力を育めるよう配慮されている。 ・「話すこと・聞くこと」の言語活動で、「学びの扉」を設定し、教材に入る前に基本的な知識や技能を習得させるよう工夫されている。 ・300冊以上の読書案内（写真・紹介文付き）や家庭学習でも使える豊富な資料が掲載されている。 			
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・発達の段階を考慮し、心に響く作品や、広い視野を養える作品が取り上げられている。文学的文章では、心の葛藤や成長を感じさせる教材が掲載され、作品を通して社会や自分自身と向き合えるよう配慮されている。 ・教材末に「言葉の力」としての学習のポイントを明示し、学習内容が理解しやすいよう工夫されている。さらに「書くこと」の教材で完成作品例を多数紹介し、生徒が完成形をイメージしながら活動できるよう配慮されている。 ・「言葉を広げよう」では、様子や印象を表す言葉が3年間で1,400語以上紹介され、類義語辞典としての役割も担っている。 ・巻頭に「これから一年間で学ぶこと」が示され、1年間の見通しをもって学習できるようになっている。また、巻末の「言葉の力一覧」では、3年間の見通しをもって学習が進められるようになっている。 			
3 組織・配列等について	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校から中学校への学習が円滑な移行できるように、連続的な学習を意識した内容・表記等からの配慮がなされている。 ・基礎編「学びを支える言葉の力」では身に付けたい言葉の力が3年間を通して系統的に学べるよう工夫されている。 ・1年では「学習を始める前に」で、小学校で学んだ国語学習の土台となる内容を適宜確かめることができ、3年では評論文が多く扱われ、資料編で「古典の文法」も学べるなど、高校国語へ移行しやすいよう配慮されている。 ・豊かな情操を育む文学作品、共感する心を養うドキュメンタリー、公共の精神を育てる協働的な言語活動を多く採用し、道徳と深く関連付けている。 			
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> ・資料・解説が丁寧で、生徒や指導者にとっても扱いやすい配慮がなされている。 ・各学年の巻頭の折り込みで1年間の学習の見通しがもてるように工夫されている。 ・単元の初めの詩や短歌や俳句がカラーで見やすく、また、巻末の古典資料が豊富で示されている。 			

令和2年度使用（中学校）教科用図書調査研究報告書

			種目	国語
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1年	2年	3年	学校図書 株式会社	
国語728 中学校国語 1	国語828 中学校国語 2	国語928 中学校国語 3		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・国際化する世界における国語教育のあり方を自国理解・国際協調の精神の育成にも視点を当て、国際関係・日本の社会や国家、自国の伝統文化やそれを生み出してきた国際的な文化交流の歴史などに関する教材を多数掲載している。 ・国語教育のあり方をキャリア教育に資することにも視点を当て、産業や労働、職業についての視点や展望を与える教材を多数掲載している。 			
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・交流や共有を軸とした言語活動を通じて、国際社会で活躍できる心の育成と思考力・想像力・言語感覚の向上、伝え合う能力の育成が図られるよう編修されている。 			
3 組織・配列等について	<ul style="list-style-type: none"> ・読解と表現をつなぐ、単元を貫く言語活動を意識して教材の配列がなされている。 			
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> ・読解力・思考力の養成の他、批評力の育成にも重点を置いて編集されている。 			

			種 目	国 語
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1 年	2 年	3 年	株式会社 三省堂	
国語729 現代の国語1	国語829 現代の国語2	国語929 現代の国語3		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化」の各領域のバランスや関連性が考慮された単元構成になっている。 ・「読書の広場」では多様な分野の図書が紹介されている。 ・伝統的な言語文化として代表的な文章を本編の「読むこと」や資料編に、写真や絵巻物とともに提示され、生徒が興味・関心をもつように工夫されている。 			
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・「読み方を学ぼう」では、「何をどのように読めば力がつくのか」という読み方の方法が図解を使って簡潔に示されている。 ・「私の本棚」では、教材文と関連のある図書が紹介されており、発展的な学習の手がかりになるよう工夫されている。 ・自然科学、環境、平和、文化、情報などの現代的な課題を取り上げ、生徒の興味・関心を高められるような配慮がされている。 			
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・領域別教材一覧で、系統性についてわかりやすく示されている。 ・巻末折り込み「読み方を学ぼう」の一覧によって、3年間の読み方の系統性が把握しやすいように工夫されている。 ・日常生活や現代社会における課題を取り上げ、共同的に問題解決ができるよう分析・比較・推論などの思考法と質問や対話による意見の構築ができる場を設定している。 			
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・図表が多く取り入れられ、学習内容を一目でとらえることができるよう工夫されている。 			

令和2年度使用 (中 学 校) 教科用図書調査研究報告書

		種 目	国 語
教科用図書の記号・番号・名称			発行者名
1 年	2 年	3 年	教育出版 株式会社
国語730 伝え合う言葉 中学国語1	国語830 伝え合う言葉 中学国語2	国語930 伝え合う言葉 中学国語3	
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」では、言語感覚を豊かにするのに役立つと思われる教材や、人間、社会、自然などに関連する教材、さらに人権や正義、平和など道徳性を養う基本となる教材も掲載されている。 		
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・教材末に「ここが大事」という欄が設けてあり、その箇所を読むことで学習のポイントが把握しやすくなるような工夫がされている。 ・单元ごとに「目標と振り返り」が設けてあり、生徒が主体的に学べるよう工夫してある。 ・教材末にある学習の手引き「みちしるべ」に、教材で学習する目標が観点別に示されている。 		
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・「習得」の段階中心から「活用」の段階中心へと学習のスパイラルがつながるよう一年間の学習内容が構成されている。 		
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末に「言葉の教室」「小倉百人一首」「古典教材へのいざない」など、伝統的な言語文化についての幅広い知識を身につけられるような資料が掲載されている。 		

令和2年度使用（中学校）教科用図書調査研究報告書

			種目	国語
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1年	2年	3年	光村図書出版 株式会社	
国語731 国語1	国語831 国語2	国語931 国語3		
観点	調査の結果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・「言葉」を見つめ、考える系列が新設され、語彙や語感を養う活動がまとめられている。 ・「読むこと」の学習に「書く」活動が入っており、関連させることで、思考力・表現力の育成が図られている。 ・言語活動を通して、習得した内容を日常生活や社会生活に生かせるような工夫がなされている。各教材には、学習のねらいに即した必然性のある言語活動が設定されている。 ・各領域の教材がバランスよく配列されている。また、各領域間で相互に関連が図られ、それぞれの領域の学習が他の領域の学習に結びつき、関連的に表現力と理解力の育成が図れるよう工夫されている。 ・国際化社会に対応するため、伝統的な言語文化の尊重と国語と郷土を愛する心を育てる工夫がなされている。 			
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・発達の段階を考慮し、心に響く作品と視野を広げることができる作品が取り上げられている。文学的文章では、生き方を描いたものが多く掲載され、作品を通して自分自身を見つめられるよう配慮されている。 ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の冒頭に「目標」を明示し、その学習でどんな力をつけるのかを生徒に向けてはっきりと示し、「学習の窓」で、その学習を通して身に付ける力や文章の内容を把握するためのポイントを簡潔にまとめている。 ・生徒が主体的に学習に取り組み、課題を発見し、考え、解決できるように「学習の見通しをもと」を設定し、年間を通して身に付けさせたい力、学習のポイントを一覧にまとめてわかりやすく示している。 ・自分の生活や体験に照らして理解し、考えを深める教材と、新たな発見をすることでものの見方や考え方を広げられる教材がバランスよく掲載されている。 ・巻末に教材に関連した資料があり、学級・学校の実情や個に応じて補充的発展的にも扱えるように配慮されている。 ・図表、線の種類や図の形でも区別して示すなど、ユニバーサルデザインについて配慮されている。 			
3 組織・配列等について	<ul style="list-style-type: none"> ・同一領域の指導事項を系統的に指導できるよう教材が配列されている。各学年とも単元の配列を同様にし、学年が進むにつれて、発展・深化するよう工夫されている。小学校の学習からの移行や中学校3年間の学習内容にとどまらず、小・中9年間の系統を重視した教材構成や表記の工夫等がなされている。 ・学年内・学年間を見通して系統的に位置づけ、習得と活用を繰り返しながら言葉の力をらせん的に積み重ねていけるよう構成されている。 ・「情報」の教材を新たに系列化し、「情報活用力」が身につけられるよう、情報化社会に対応する情報収集・メディアリテラシー・情報発信についての考えを広めることができる教材を系統立てて配置してある。 ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「文法」「言葉」には「生活に生かす」「他教科に生かす」を位置づけ、その学習で身に付けた言葉の力を生かすことのできる「実の場」を具体的に例示してある。 			
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> ・1年「確かさ」2年「豊かさ」3年「深さ」を学年のキーワードとして設定し、1年では小学校で身に付けた力をより確かなものとし、2年でより高め、3年では充実感として深めていけるよう教材構成が工夫されている。 ・言語活動の充実を意識して、「話すこと・聞くこと」「書くこと」では、習得から活用への橋渡しになるように、身につける言葉の力を絞って、1ページ1時間で取り組める「練習教材」があり、スモールステップで学習できるようになっている。 ・2年の各都道府県の「郷土ゆかりの作家・作品」では、郷土愛を醸成する工夫がされている。 ・ポスターセッションなどの言語活動は、実際の活動形態のポイントが写真や図で示されていてわかりやすい。 			

令和 2 年度使用中中学校用教科用図書
調査研究資料
(報 告 書)

書 写

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

令和2年度使用 (中 学 校) 教科用図書調査研究報告書

		種 目	書 写
教科用図書の記号・番号・名称		発行者名	
1 年 ・ 2 年 ・ 3 年		東京書籍	
書写731 新編新しい書写一・二・三年		株式会社	
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・指導内容を厳選し、相手に読みやすく正しく整えて速く書くという基礎・基本の指導が徹底できるようになっている。 		
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・各教材に「目標」と「調べよう」「確かめよう」「広げよう」の3段階からなる「学習の手びき」と「振り返ろう」があり、目的意識をもって主体的・協働的な学びができるよう工夫されている。 ・学校行事の中でどのように手書き文字を生かしていくかが行事の運営に沿ってわかりやすく例示され、学校生活と学習内容の関連が図られている。 ・コラムや巻末資料などが設けられ、文字文化や書写に対する興味・関心が高まるよう工夫されている。 ・1年では楷書のまとめが、3年最後に芸術科書道の学習内容が、補充的・発展的学習として掲載されている。 		
3 組織・配列等について	<ul style="list-style-type: none"> ・教材を「練習」「資料」「生活に広げよう」の3つに分け、系統的・発展的な学習ができるように工夫されている。 ・巻末に楷書と行書の常用漢字表と人名漢字表が収録されており、参考として使えるようになっている。 ・各学年の最後に「生活を豊かにする文字」という単元を設定し、既習学習を生活に生かせるように工夫されている。 ・国語の教科書の古典文学などを硬筆教材にし、伝統的な言語文化に親しめるよう配慮されている。 ・ノートを書くときの整え方が教材化され、他教科にも生かせるよう取り上げられている。 		
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> ・判型の横幅を広くしたワイドな紙面になっており、資料性が高く書き込み欄も充実している。 ・手本は二色の淡墨を使い、毛筆の筆遣いについて筆の角度やさばき方などがわかりやすく示されている。また、「トン・スー・ピタ」の音によって、筆圧や筆運びなどが具体的にイメージできるよう工夫されている。 		

令和2年度使用（中学校）教科用図書調査研究報告書

		種目	書写
教科用図書の記号・番号・名称		発行者名	
1年・2年・3年		学校図書 株式会社	
書写732 中学校 書写			
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> 各單元には、毛筆教材の文字と関連するカラー写真が提示してあり、日本の伝統文化に対する興味・関心を持ちやすくなるように配慮されている。 基本的な筆使いを図解によって詳細に示し、楷書や行書の基本的な技能が確実に習得できるよう工夫されている。 		
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 単元の終わりに、学習内容を再確認できる「書いてみよう」の課題が提示され、書き込みながら学習内容の確認ができ、生徒が主体的に学べるよう配慮されている。 		
3 組織・配列等について	<ul style="list-style-type: none"> 教科書とも関連を図り、古典文学を硬筆教材にとりあげるなど、効果的に関連を図って伝統的な言語文化に親しめるように工夫されている。 一年「楷書を書こう」「行書を書こう」二年「楷書を復習しよう」「行書を深めよう」と段階的に配置し、書写技能が無理なく身につくよう配慮されている。 		
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> 実物大の手本が8枚あり、学習しやすく工夫されている。 		

令和2年度使用（中学校）教科用図書調査研究報告書

		種 目	書 写
教科用図書の記号・番号・名称		発行者名	
1 年 ・ 2 年 ・ 3 年		株式会社	
書写733 現代の書写 一・二・三		三省堂	
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行書の筆使いが、写真やイラストを用いて理解できるように工夫されている。 		
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楷書や行書の学習では学習の狙いがタイトルで明示され、「何をどう学ぶのか」を見通して授業に臨めるよう工夫されている。 ・ 書写技能がなぜ自分の文字を向上させることにつながるのか、習得した技能を別の場面で活用できないかを考える、目的や読み手に適した効果的な書き方について考える等、「考える書写」を学習を通して身に付けられるよう重視されている。 ・ 学び方を学ぶために、学習の流れを標準化し、その流れを繰り返すことにより、生徒が書写の学び方を身に付けられるよう工夫されている。 		
3 組織・配列・分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「生活に生かそう」の単元では既習事項をどの場面で生活に生かせるかが身近に感じられるように工夫され、日常生活の中で文字文化を取り上げられるよう配慮されている。 ・ ノートの整え方を資料編に載せ、他教科に生かせるようになっている。 		
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> ・ ポイントを案内するキャラクターの設定により、生徒の興味・関心を引くだけでなく、理解が進むよう工夫されている。 		

令和2年度使用（中学校）教科用図書調査研究報告書

		種 目	書 写
		教科用図書の記号・番号・名称	
		1 年 ・ 2 年 ・ 3 年	
		書写734 中学書写	
		発行者名	
		教育出版 株式会社	
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・行書特有の穂先の動きや筆の運びが分かりやすいよう、朱墨と薄墨の二色を使った手本で筆使いのポイントが詳細に解説されている。 		
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・筆圧やポイントとなる筆使いを明確に示し、個の能力に応じて習得できるよう考慮されている。 ・各項目の初めに「目標」と「試し書き」、終わりに「まとめ書き」をする部分が設けられ、自己の学習の振り返りできるよう工夫されている。 ・生徒が興味をもって、主体的に学習を深めていけるよう選択課題教材が設けられている。 		
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校で学んだ「基本点画」「筆圧」「穂先の動き」が1年生の最初に具体的に提示され、小学校との連携が図られている。 ・テーマに沿ったポスター、礼状、報告文など、書写学習で得た能力を他教科や生活の中で活用できるように配慮されている。 		
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末資料の漢字一覧表が五十音順ではなく、共通する点画や似通った部分に分けた独自の配列で示され、表に載っていない字も部首や部分の組み合わせで調べられるように工夫されている。 		

令和2年度使用（中学校）教科用図書調査研究報告書

		種 目	書 写
教科用図書の記号・番号・名称		発行者名	
1 年 ・ 2 年 ・ 3 年		光村図書出版	
書写735 中学書写一・二・三年		株式会社	
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりにくい筆使いや字形については、写真や図解があり視覚的に理解しやすくなっている。行書の筆脈が点線で示されており、筆順がわかりやすい。 ・「資料編」に楷書と行書の常用漢字表と部分別行書一覧、毛筆補充教材、原寸大書き初め手本を収録してある。 ・基本的な筆使いが、朱薄墨の連続写真で分かりやすく掲示され、多くの写真や挿絵を用い、重要な部分は目立つ色で強調して、学習内容がわかりやすく示されている。 		
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識や技能が確実に習得できるよう、生徒の発達段階に応じて適切な教材が精選され、わかりやすく提示されている。 ・「目標」「学習を振り返る」が明示され、見通しをもって学習が進められるようになっている。また、「学習の窓」で基礎・基本が示されている。 ・問題形式で学習を進めたり、学校生活と関連させたりすることで、興味を喚起できるよう工夫されている。 ・巻末に「資料編」を設け、日常生活に役立つ実践的な資料や学習をサポートする多彩な資料が収録してある。 ・学年によって色分けされており、学年のページがカラーインデックスで明確に示されて学習内容が見分けやすくなっている。 		
3 組織・配列等について	<ul style="list-style-type: none"> ・「基礎編」「学習編」「資料編」の3部構成になっており、「学習編」を軸に相互参照しながら活用できるようになっている。「基礎編」は導入として扱うことで、小学校とのスムーズな接続を図ることができるようになっている。 ・毛筆を硬筆の基礎としてとらえ、硬毛の密接な関連を図り毛筆での学習が硬筆で生きるよう工夫されている。 ・3年の学習事項は「書写を生活に生かす」というテーマに絞り、発展的な内容が中心となっている。 ・「行書」導入時、「楷書体」が同ページに同文字で示され、違いについて確認しながら学習できるよう配慮されている。 ・学校行事に対応する項目を載せ、普段の生活に役立つよう配慮されている。 		
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> ・国語教科書に掲載されている文章や詩・俳句・古典等を教材として取り上げ、連携を図っている。 ・学習要素が焦点化され、多くが見開き2ページで学習が完結し、効果的な学習ができるよう工夫されている。 ・ポイントを質問形式で問う項目があり、既習事項を確認する機会を設けている。 		

令和 2 年度使用中中学校用教科用図書
調査研究資料
(報 告 書)

社 会
(地理的分野)

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

令和2年度使用（中学校）教科用図書調査研究報告書

			種目	社会（地理的分野）
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1年	2年	3年	東京書籍株式会社	
地理 725 新しい社会 地理	地理 725 新しい社会 地理			
観点	調査の結果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・「世界の諸地域」と「日本の諸地域」の学習では、小单元ごとの課題、追究、まとめの構成が構造化されている。また、「世界の諸地域」では州ごとに主題を決めて、「日本の諸地域」では地域ごとに地域の特色ある地理的事象を中核とした追究活動を通して、問題解決的な学習の手順を繰り返すことにより、地理的な見方や考え方の基礎が培われるよう配慮されている。 ・地域調査においては調査の手順、視点、方法、まとめ方や発表の仕方等が、順を追ってわかりやすく提示されている。 ・1時間ごとに学習の振り返りとして、学習内容を自分の言葉でまとめる「確認」が設けられている。その「確認」では、「キーワードを使って」、「共通点や相違点に着目して」、「資料を根拠に考えて」などといった発達段階に応じた難易度が設定されている。 			
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の最初に、小学校社会科の学習事項を用語や写真で振り返る活動が設けられており、導入として取り組みやすく配慮されている。 ・1時間の学習内容を「学習課題」で示し、生徒が見通しを持って学習できるように配慮されている。 ・地理的事象と地域の人々の営みとを関連付けて例示した本文となっている。地域学習の節末に「深めよう」が設けられ、各節の主題や中核とした地理的事象の考察以外の視点からもその地域を解説しており、生徒が多面的・多角的に考察できるよう配慮されている。 			
3 組織・配列・分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の教材構成、配列は適切である。これらにより、地域の特色をあらゆる主題や、中核とした地理的事象の考察の視点で捉えられるよう工夫されている。 ・地域学習では、世界の各州・日本の各地方などを「概観部」「展開部」「終結部」という3つの段階に構造化しており、系統性に配慮がなされている。 ・各章の冒頭には、小学校で学習した内容のキーワードが示してあり、小学校の学習内容との関連が図られている。 ・「深めよう」コーナーでは、様々な伝統文化・宗教、環境・エネルギー問題、防災・安全、人権・平和等の具体的事例が示され、歴史的分野、公民的分野の学習への接続が考慮されている。 			
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害については、これまでの災害を例に種類を説明するとともに、国や自治体の災害への備えと、自分自身の防災対策や災害発生時の行動について学習が展開できるよう配慮されている。 			

			種 目	社会 (地理的分野)
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1 年	2 年	3 年	教育出版 株式会社	
地 理 7 2 6 中学社会 地理 地域にまなぶ	地 理 7 2 6 中学社会 地理 地域にまなぶ			
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・「世界の諸地域」では統計資料が多く掲載され、世界的視野に立って学習できるよう配慮されている。主題が異なる地図資料も、同じ縮尺で並べて掲載されているため、複数の資料を活用して、多面的・多角的な考察がしやすいよう工夫されている。 ・1時間ごとに、本時の主題と副題が明示され、生徒がねらいをとらえやすいよう配慮されている。また、「世界の諸地域」では州の特色をとらえていく学習活動を通して、「日本の諸地域」では地理的事象を追究する活動を通して、地理的な見方や考え方の基礎が培われるよう配慮されている。 ・地域調査の視点や方法が示され、調査のポイントが明示されている。また、地域に向けた発信の方法やまとめの例が示されており、生徒が地域調査の方法、まとめ方や発表の方法の基礎が身に付けられるよう配慮されている。 			
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・「地理にアプローチ」では、小学校で既習した地図やグラフに関する基礎的な知識を確かめる作業活動が位置づけられており、中学校での学習へスムーズな接続ができるよう工夫されている。 ・生徒の日常生活や経験と関連の深い身近な話題や内容が多く紹介されている。また、巻頭や折込のページを中心に、写真資料が掲載され、興味・関心が喚起できるような工夫されている。 ・「見てみよう」では、分布図やグラフ、写真等への説明が充実しており、興味・関心を持って学習に取り組めるよう配慮されている。 			
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・「世界の諸地域」や「日本の諸地域」の学習では、世界の各州・日本の各地方について、自然環境や文化・歴史など概観し、主題やテーマに沿って学習を展開し、地域的特色についてまとめると等いう3つの段階で構造化しており、系統性が配慮されている。 ・巻頭の「地理にアプローチ」には、小学校で学習した地図のきまりや地図帳の使い方、グラフの種類などを振り返る活動が位置づけられている。 ・地域の歴史に関する記述や資料が多く取り上げられ、世界地理や日本地理における各地の特色を、歴史的背景と関連させて捉えることができる構成になっており、歴史的分野との関連が図られている。 			
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の資料ページでは点字の加工がなされ、生徒が実際に触って体感できるよう工夫されている。 			

			種 目	社会 (地理的分野)
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1 年	2 年	3 年	株式会社 帝国書院	
地 理 727 社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	地 理 727 社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土			
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1時間ごとの学習課題が明示され、見通しある学習へ配慮されている。「世界の諸地域」では、節頭で特色のある写真を数多く配置し、その地域の特色を大観できるよう工夫されている。さらに、その地域をとらえていく主題を追究する活動や学習内容を確認したり、深めたりする活動を通して、地理的な見方や考え方の基礎が培われるよう配慮されている。 ・ 「世界の諸地域」では、地域ごとのテーマが幅広く設定され、世界的視野から地域的特色をとらえやすいよう配慮されている。地図や写真、統計資料、その地域で生活する人々の声を紹介したコラムなど、多様な資料を豊富に掲載され、生徒が多面的・多角的に考察することができるよう配慮されている。 ・ 「技能をみがく」では、資料の具体的な見方や考え方から表現方法まで、地理学習における基礎的・基本的な技能が習得できるよう配慮されている。 ・ 1時間ごとに学習した内容を踏まえ、自分の言葉で説明する「説明しよう」が設けられている。節末「ふりかえろう」では学習内容をまとめる「説明しよう」、興味や疑問をまとめる「探求しよう」が設けられ、言語活動が十分行われるよう配慮されている。 			
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「やってみよう」では、小学校での内容等を振り返り活用していくよう配慮されている。「日本の諸地域」では特設ページ「地程域を探ろう」が設けられ、中核とした地理的事象の考察とは別の視点から地域をながめ、多面的・多角的に考察するよう発達の段階に配慮されている。 ・ 「世界の気候」を学習した上で「世界の人々の生活と環境」や「世界の諸地域」の学習を行うことで、発達の段階に考慮して学習が進められるように工夫されている。また、「地形図の使い方」を「世界と比べた日本の地域的特色」で学習することにより、その後の「日本の諸地域」や「身近な地域」の学習に生かせるように工夫されている。 			
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体の教材構成、配列は適切である。「日本の諸地域」の学習では、各地域の特色を中核とした地理的事象を設定し、地方の全体像がとらえやすいよう工夫されている。 ・ 「世界の諸地域」や「日本の諸地域」の学習では、世界の各州・日本の各地方について、地域的特色を概観し、テーマを通して、その地域的特色を考察し、地図や図表を用いてまとめるという3つの段階で構造化しており、系統性が配慮されている。 ・ 世界及び日本の諸地域学習において、文化や産業についての歴史的経緯が記載され、歴史的分野との関連が図られている。また、コラムでは防災・環境・共生に関する課題が取り上げられ、公民的分野への接続が配慮されている。 			
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最新の動向を伝える写真が数多く掲載されているだけでなく、各ページに大きな写真が掲載されており、自然環境や生活・文化などを実感できるよう、工夫されている。 			

令和2年度使用（中学校）教科用図書調査研究報告書

			種目	社会（地理的分野）
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1年	2年	3年	日本文教出版 株式会社	
地理 728 中学社会 地理的分野	地理 728 中学社会 地理的分野			
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・統計資料や写真資料、図表、グラフなど多様な資料が豊富に掲載されている。主な都市の分布や雨温図などの資料と、特色を見だしやすい地域の資料を並べて掲載することにより、世界的視野から地域的特色を見いだせるよう配慮されている。 ・1時間ごとの学習課題が明示され、生徒が学習のねらいを把握しやすいよう配慮されている。地域学習ではテーマや視点が毎時間明示され、単元を通して、同じ視点からその地域をとらえられるよう工夫されており、地理的な見方や考え方の基礎が培われるよう配慮されている。 ・「スキルアップ」のコーナーが設けられ、地理の学習を進めるために必要な技能を、系統立てて習得できるよう工夫されている。 			
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・「スキルUP」では、学習に必要な地理的技能を5種類に整理し、発達の段階に応じて系統立てて習得できるよう配慮されている。 ・1時間ごとに「学習課題」が明示されている。「学習の確認と活用」では、問題解決的学習の活動が設けられており、生徒の主体的な学習を促すよう配慮されている。また、学習内容を深めるための作業学習「トライ」が設けられている。 ・「読み取ろう」、「考えよう」、「まとめよう」、「伝えよう」では、図版の内容を読み取り、それを基に思考・判断・表現する活動が取り入れられ、問題解決的な学習を進めていけるよう配慮されている。 			
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・「世界の諸地域」や「日本の諸地域」の学習では、世界の各州・日本の各地方について、テーマや視点に沿ってその地域的特色を考察し、学習内容を活用してまとめるという3つの段階で構造化しており、系統性が配慮されている。 ・ページの下段には、「連携コーナー」が設けられており、小学校の学習内容との関連や、歴史的等分野、公民的分野との関連が図れるよう工夫されている。 ・「世界の諸地域」「日本の諸地域」の各節末には「自由研究」や「地域からのメッセージ」が設けられ、現代社会の課題について記述されており、公民的分野との関連が図られている。 			
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・ページの下段に「〇〇〇も見てみよう」があり、見開きの学習内容の理解を深めるための特設ページが示されている。 ・学習課題の下には、本時の学習内容のキーワードとなる言葉が示されている。 			

令和 2 年度使用中中学校用教科用図書
調査研究資料
(報 告 書)

社 会
(歴史的分野)

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

			種 目	社会 (歴史的分野)
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1 年	2 年	3 年	東京書籍 株式会社	
歴史 729 新編 新しい社会 歴史	歴史 729 新編 新しい社会 歴史	歴史 729 新編 新しい社会 歴史		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> 各時代の導入で写真やイラストがあるため、時代を大観できるように配慮されている。章末には、ディスカッションや歴史新聞の作成など、多様な方法でその時代の特色をまとめさせるよう工夫されている。年表では、前章の振り返り、次章の見通し、その時代の特色をつかめる。本文では、我が国の歴史と世界史との関連や因果関係が捉えられる。 写真や地図、グラフなどが豊富に掲載されている。資料番号が本文中にも挿入され、本文と資料との関係がとらえやすい。本文と資料の関係は適切であり、また、資料を読み取る際の視点を明確にする配慮がされている。 見開きごとの「確認」での要約や説明活動、章末での時代の特色をとらえる活動が設けられている。キーワードを用いた説明や論述による説明、字数制限説明、変化経緯説明など多様な言語活動が十分に行われるように配慮されている。 			
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 第1章の「歴史の流れのとらえ方」や章扉の年表で、小学校の履修内容を振り返り、学習の導入として取り組みやすい工夫がなされている。 導入資料の読み取りの視点などを気付かせるキャラクターの吹き出しや、各時代の学習内容に関連した実物・復元物や人物写真などが豊富に配置され、生徒の興味・関心に適応するよう配慮されている。 「歴史スキルアップ」や「調査の達人」のページが設けられ、生徒が主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。 			
3 組織・配列等 について	<ul style="list-style-type: none"> 第1章に「歴史の流れ」を配し、古代、中世、近世、近代(2章)、現代の7章構成となっており、時系列に沿って配列されている。全体の教材構成、配列は適切である。 古代から現代までの我が国の歴史を、毎時間の課題を基に、政治・人々の生活・文化を関連付けて系統的に学習できる構成になっている。 地図資料が豊富に掲載されており、イラストマップを作る学習が取り入れられているなど、地理的分野との関連が図られている。また、国際関係や人権問題が取り上げられ、公民的分野との関連も図られている。図書館の利用方法やパソコンを活用した調べ学習に必要な知識、技能が掲載されているなど、他教科の学習においても必要となる技能の習得にも配慮されている。 			
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> 「歴史スキルアップ」、「調査の達人」、「歴史にアクセス」などのコーナーが充実し、多面的・多角的な歴史の見方が可能になっている。 			

			種目	社会（歴史的分野）
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1年	2年	3年	教育出版 株式会社	
歴史 730 中学社会 歴史 未来をひらく	歴史 730 中学社会 歴史 未来をひらく	歴史 730 中学社会 歴史 未来をひらく		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> 各章扉では、日本・中国・朝鮮の東アジア3地域を「これから学習する時代」として、帯状の年表に示されており、関連付けが図られている。 写真や地図、グラフ、文書資料などが適切に掲載されている。資料番号を本文中にも挿入し、本文と資料との関係をとらえやすくしており、本文と資料の関係は適切である。 見開きごとに設けられた「ふりかえる」、各章末ごとに設けられた「学習のまとめと表現」、学習の流れに即して設けられた「読み解こう」などにより、①資料の読み取りや調べ学習、②資料の比較などを通し、多様な言語活動が取り入れられるよう工夫されている。 			
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 第1章では、小学校で学習した歴史上の人物を振り返り、時代の移り変わりを考えさせる学習活動を通して、中学校での歴史学習への接続が図られるよう工夫されている。 本文記述と資料が視覚的にとらえやすく配置しており、写真や絵地図等の資料が豊富で、生徒の興味・関心を高められるよう工夫されている。 見開きごとに「学習のねらい」が示され、課題意識が明確になるよう工夫されているとともに、章末に設問に答える作業を設けており、生徒が主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。 			
3 組織・配列等 について	<ul style="list-style-type: none"> 第1章に「歴史のとらえ方」を配して全体を8章に分けて構成し、時系列に従って配列されており、全体の教材構成、配列は適切である。 古代から現代までの我が国の歴史を、毎時間の課題をもとに系統的に学習できる構成になっている。見開きごとに、表題の上に取り扱う時代の範囲の年表が色で示されていることで系統的に学習できるよう工夫されている。 巻末の史跡地図や本文中の地図資料、各章末の「学習のまとめと表現」では、歴史の出来事と関係の深い場所を地図上に書き入れる課題があり、地理的分野との関連が図られている。 			
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> 本文の学習から興味や関心を広げていくコラム「歴史の窓」や、歴史を様々な側面から掘り下げていくテーマ学習のページを設け、個に応じた学習ができるよう工夫されている。 			

			種 目	社会 (歴史的分野)
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1 年	2 年	3 年	株式会社 清水書院	
歴史731 中学 歴史 日本の歴史と世界	歴史731 中学 歴史 日本の歴史と世界	歴史731 中学 歴史 日本の歴史と世界		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> 各時代の導入のページに、その時代を代表する写真やイラストが掲載されている。また章末では「日本のうごき」「世界のうごき」が年表にまとめられており、それを学習者が記号を書き込む形で作業することにより、時代の特色や相互の関連をつかめるように工夫されている。また我が国の歴史を理解する上での必要な世界の歴史を、東アジアを中心として示すなど配慮がなされている。 「もっと知りたい歴史」では、図版・写真などを用いて神話や伝承などを取り上げ、それらを敬愛する態度が育まれるようになっている。様々な歴史的遺産と伝統・文化の価値を見だし、それらを生み出した地域や人々に敬愛の念を持ち、尊重する態度が養えるよう工夫されている。 巻頭の歴史学習の導入ではキャッチコピーを考える活動が提案されており、他の場面でも多様な言語活動が位置づけられている。 			
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 特集のページで現在の生活につながるエピソードが紹介されている。また、各章の扉には時代を象徴する事物が取り上げられ、キャラクターの吹き出しや解説文を加えることで、生徒の興味・関心を高める工夫がなされている。 見開きごとに「課題」「まとめてみよう」が示されており、章末には年表問題や時代の特色を説明する活動が設定されているなど、生徒が主体的に学習に取り組めるような配慮がなされている。 固有名詞を中心にふりがなが付けられている。行間をやや広く設定しており、文章を目で追いやすように配慮している。 			
3 組織・配列等 について	<ul style="list-style-type: none"> 古代から現代まで、我が国の歴史を毎時間の課題を基に学習できる構成となっている。各章の扉の下部に学習する時代の範囲が年表で明示されている。 巻末に史跡地図が掲載されている。また、本文中にも地図資料が掲載されており、地理的分野との関連が図られている。国際関係や環境問題、人権問題に関する内容も取り上げてあり、公民的分野との関連も配慮した配列となっている。 			
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> 本文と資料掲載部分とが明確に区分されており、見やすいレイアウトになっている。 			

令和2年度使用 (中 学 校) 教科用図書調査研究報告書

		種 目	社会 (歴史的分野)
教科用図書の記号・番号・名称			発行者名
1 年	2 年	3 年	帝国書院 株式会社
歴史 732 社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き	歴史 732 社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き	歴史 732 社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き	
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> 各章の冒頭に、人々の暮らしに焦点を当てた「タイムトラベル」でイラストが豊富に掲載されており、その時代を大観できるよう工夫されている。また、写真や地図、グラフ等が豊富に掲載されている。本文中に資料番号が挿入され、本文と資料の関係が捉えやすいよう工夫されている。 見開きごとの「確認しよう」と「説明しよう」や各部末の「学習をふりかえろう」で要点を振り返ることができると共に、多様な言語活動が十分に行われるような工夫がされている。 古代から現代にかけて、各時代の文化についてのページが充実している。また、仏教・キリスト教・イスラム教の三大宗教の起こりと広がりについて、地域的・歴史的な背景を含めて取り上げている。 		
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 第1部には小学校で学んだ人物や出来事を振り返るイラストや年表を設けており、歴史学習の導入としての配慮がされている。 各時代の導入部に「タイムトラベル」を設け、見開きの大きな挿絵から各時代の様子を大観して、生徒の学習への興味・関心を高めるよう工夫されている。また、本文中にも、このページ番号を挿入して関連付けが図られている。 各部末の「学習をふりかえろう」では、段階的に作業が示され、学習のまとめとして主体的に取り組めるよう工夫されている。 		
3 組織・配列等 について	<ul style="list-style-type: none"> 第1部に「歴史のとらえ方と調べ方」を配し、原始・古代から現代までの7部で構成されており、全体の教材構成や配列等は適切である。 古代から現代までの我が国の歴史を、毎時間の課題を基に系統的に学習ができる構成になっている。 巻末の「身近な地域の歴史舞台」、「世界と日本を結ぶきっかけとなった人々」、「古地図」や本文中の地図資料が充実している。 		
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> 歴史を学習する上で大切な用語をわかりやすく説明した「解説」が54箇所設けられているとともに、文章の解説だけでは理解しづらい用語は、図や写真が添えられており、視覚的に理解が深まるよう工夫されている。 		

			種 目	社会（歴史的分野）
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1 年	2 年	3 年	日本文教出版 株式会社	
歴史 733 中学社会 歴史的分野	歴史 733 中学社会 歴史的分野	歴史 733 中学社会 歴史的分野		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 写真や地図、グラフ等が効果的に且つ豊富に掲載されている。本文中に資料番号を挿入し、本文と資料との関係がとらえやすくなっており、本文と資料の関係は適切である。 ・ 見開きごとの「学習の確認と活用」で、段階的に言語活動が取り入れられるよう工夫されている。また、「とらえよう時代の転換」、「とらえよう〇〇日本の特色」では、資料や地図などを基に、考えたり発表したりするなど、多様な言語活動が取り入れられている。 ・ 巻末で文化財の種類や見方について詳しく紹介されている。また、現代に残る文化遺産や伝統文化を紹介する配慮がされている。 			
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各編の導入の年表において、小学校で学んだ人物・内容などを再確認させ、中学校の歴史学習にスムーズに移行できるよう工夫されている。 ・ 図版特集」において、各時代の生活様子が衣食住の観点からまとめられ、現在の生活との関連が図られている。また、人物の写真や肖像画には、生没年に加えてエピソードを添えるなど、生徒の興味・関心に適応するよう配慮されている。 ・ 「+α」として補足的な解説欄が設けられており、補充的な学習や発展的な学習に配慮されている。 			
3 組織・配列等 について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1編に「歴史のとらえ方」を配し、原始・古代から現代まで6編で構成されており、全体の教材構成、配列は適切である。 ・ 古代から現代までの我が国の歴史を、毎時間の課題を基に、系統的に学習できる構成になっている。各ページの左端の年表には、学習する時代の範囲が明示されている。 ・ 巻末の史跡地図や本文中の地図資料などにおいて、地理的分野との関連が図られている。また、国際関係、観光問題、人権問題が「歴史を掘り下げる」、「先人に学」の中で、詳しく扱われるなど、公民的分野との関連も図られている。 			
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭と巻末に「歴史学習の基礎資料」が設けられ、日本各地の旧国名や五畿七道、外国の漢字での表記等、歴史を学習する上で必要となる基礎的な知識について、地図や写真を用いて解説している。 			

令和2年度使用（中学校）教科用図書調査研究報告書

			種目	社会（歴史的分野）
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1年	2年	3年	株式会社 自由社	
歴史 737 新版 新しい歴史教科書	歴史 737 新版 新しい歴史教科書	歴史 737 新版 新しい歴史教科書		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> 各章扉では、学習への関心を高められるよう、その時代を象徴する絵画・写真資料が取り上げられている。また、章末で「〇〇とは、どんな時代か」というコーナーを設け、二人の問答の形式をとって時代の特色を浮かび上がらせるよう工夫されている。 「もっと知りたい」、「人物クローズアップ」、「外の目から見た日本」などでは、各時代において外部の人々から評価されてきたことが紹介されており、我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚が高まるよう工夫されている。 「もっと知りたい」の中で、仏像の見方や神話、国名の起こりについて詳しく紹介するなど、我が国の伝統文化や宗教に関する学習が充実するように工夫されている。また、仮名文字や歌舞伎、浮世絵についても紹介し、日本独自の文化や海外との関わりについて考えさせるよう工夫されている。 			
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 各章の扉に、それぞれの時代の特色をとらえる手がかりとなる写真や絵を配置し、生徒の学習への関心を高めるように配慮されている。 各章末に「歴史豆辞典」として、15の歴史用語を取り上げ解説するページを設け、基礎的・基本的な事項が確認できるように配慮されている。 固有名詞を中心にふりがながつけられている。全体としてふりがなのついている場所が精選されており、読みやすくなる工夫がなされている。 序章において地域の歴史を調べる学習が取り上げられている。事例を通して、郷土の先人たちの生活や伝統や文化を創り上げてきた姿を学ぶことで、郷土を愛する心情の土台がつかれるよう配慮されている。 			
3 組織・配列等 について	<ul style="list-style-type: none"> 古代から現代までの歴史を、1時間ごとの課題を基に系統的に学習ができる構成になっている。第1章から終章まで、章単元に通し番号をつけている。大きな歴史の流れを意識しながら学習できるように配慮されている。 多様な地図資料が掲載されており、地理的分野との関連が図られている。また、国際問題や人権問題、環境問題なども取り上げており、公民的分野との関連も図られている。序章に於いて、図書館の利用など、調査、まとめの仕方が例示され、他教科の学習でも必要となる技能の習得にも配慮されている。 			
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> 各章末に「歴史豆辞典・100字用語解説」が掲載されており、歴史用語の基礎的・基本的な理解を促進するとともに、言語活動としても活用できるように配慮されている。 			

令和2年度使用（中学校）教科用図書調査研究報告書

			種目	社会（歴史的分野）
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1年	2年	3年	株式会社 育鵬社	
歴史 735 [新編] 新しい日本の歴史	歴史 735 [新編] 新しい日本の歴史	歴史 735 [新編] 新しい日本の歴史		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> 各時代の文化遺産の写真が豊富に掲載されている。また「歴史ズームイン」「歴史ビュー」の中で詳しく取り上げるなど、文化に関する学習が充実している。「歴史ズームイン」では、外国人から見た日本のよさに気づけるように配慮もなされている。 「人物コラム」「読み物コラム」「歴史の名場面」「なでしこ日本史」「課題学習」では、我が国の発展に貢献した歴史上の人物を男女・国内外を問わず取り上げ、日本独自の伝統文化の内容を充実し、日本の歴史・文化・社会を尊重する態度を養うための工夫がなされている。 章扉の「海洋国家・日本の歩み」や「このころの世界は」において、諸外国との関わりが意識できるように工夫されている。 			
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 序章では、小学校で学んだ歴史上の人物をカードにまとめる活動を紹介し、時代をとらえ学習活動に取り組みやすくするとともに、中学校の歴史学習との接続も配慮している。 各章のはじめにイラストで描かれた「歴史絵巻」が設けられているとともに、学習する時代のように表している資料に対する発問が設定されており、生徒の主体的な学習を促す工夫がなされている。各図版の色使いは、彩度の落ち着いた比較的に見やすいものになっている。 キャラクターの吹き出しを手がかりに、生徒が興味・関心を持ち、親しみながら学習できるように配慮されている。また、教科書の本文内容を理解した生徒が主体的に学習を深めることができるよう、「読み物コラム」「人物コラム」など、読み物資料の充実が図られている。 			
3 組織・配列等 について	<ul style="list-style-type: none"> 序章に「年代や時代区分の表し方」を位置づけるとともに、原始・古代から現代までを6章で構成、その後「日本の歴史を大観する」というコーナーが設けられており、全体の組織・配列は適切である。 第1章から終章まで、見開きの1単位時間毎に通し番号が振られており、古代から現代までの我が国の歴史を、毎時間の課題を基に系統的に学習できる構成になっている。各章の扉で100年を1cmとする年表を掲載し、学習する時代が一目で分かる工夫がなされている。 			
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> 1章から5章の章末に「なでしこ日本史」を掲載し、章毎に活躍した3名の女性を取り上げている。 			

令和2年度使用（中学校）教科用図書調査研究報告書

		種 目	社会（歴史的分野）
教科用図書の記号・番号・名称			発行者名
1 年	2 年	3 年	株式会社 学び舎
歴史 738 ともに学ぶ人間の歴史	歴史 738 ともに学ぶ人間の歴史	歴史 738 ともに学ぶ人間の歴史	
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 章扉を見開きページとし、中央に世界地図を、周囲に関連する史跡の写真が掲載されており、これから学習する時代の背景となる世界の歴史を大観できるように工夫されている。 ・ 章末では、文章によるまとめのコーナーに用語を穴埋めさせたり、歴史白地図への作業をさせたりするなど、多様なまとめ方に取り組みせる工夫がなされている。 ・ 国内外を問わず、民衆の立場から社会や文化の発展に寄与した人物が多く取り上げられ、時代や地域との関連を理解させ、歴史上の人物や文化遺産を尊重しようとする態度が育てられるよう配慮されている。 ・ 写真や地図、グラフ、図解、文章資料が効果的に掲載されており、本文と資料との関係も適切である。独自の視点で掲載された資料が多く見られる。 		
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「章をふりかえる」では、補充的な学習として、地図と年表の空欄にその時代の代表的な出来事や人物を書き込みながらまとめる工夫がなされ、基礎・基本の定着が図られるよう工夫されている。 ・ 固有名詞や難読の用語を中心に、やや多めにふりがなが付けられている。ゴシック体で表示し、読みやすくなる工夫がなされている。絵画資料の一部には、掲載にあたり明度をあげており、視覚的な効果を高めるよう工夫されている。 ・ 「歴史への案内」において「地域の博物館で調べる」を設けて、地域の博物館での学習や江戸時代に作られた水路の調査などの例を紹介し、郷土の歴史や文化を尊重し、継承する態度が養えるよう配慮されている。 		
3 組織・配列等 について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原始・古代から現代までが、6部で構成されている。さらに第1部から第6部までを10章に分け、古代から現代までの我が国の歴史を、部ごとの課題を基に系統的に学習できる構成となっている。 ・ 前見返しには歴史地図（世界）、後ろ見返しには歴史地図（昔の国名と国境）（日本）、章扉の北極を中心とした世界地図など地理的分野との関連が図られている。また世界の歴史に関して多く取り上げたり、歴史の中で生きる人々の姿に視点を当てたりすることで公民的分野との関連を図っている。序章において図書館やインターネットの利用など、調査の仕方が例示され、他教科の学習でも必要となる技能が習得できるよう配慮されている。 		
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・ A4版を採用しており、写真や資料が大きく掲載されている。 		

令和 2 年度使用中学校用教科用図書
調査研究資料
(報 告 書)

社 会
(公民的分野)

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

			種 目	社会 (公 民 的 分 野)
教 科 用 図 書 の 記 号 ・ 番 号 ・ 名 称				発 行 者 名
1 年	2 年	3 年	東京書籍 株式会社	
公 民 9 2 9 新編 新しい社会 公民				
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・「ちがいのちがい」から人権問題を身近な問題として捉えさせ、ハンセン病患者及び元患者に対する隔離政策、尊厳死をめぐる議論、国連でのマララさんの演説など、人権問題に関する多くの資料を掲載し、人権について広い視野から認識できる。そしてその学習をもとに、民主主義について学べるようになっていく。現代社会の代表的な視点として「効率」と「公正」を紹介し、見方や考え方の基礎を養い、「公民にアクセス」「公民にチャレンジ」「深めよう」などで現代社会の諸問題について説明したり考えさせたりすることや、「効率と公正」マークを全編要所に設定することで、具体的な事例を取り上げて考えさせるよう工夫されている。日本外交は一貫して平和主義と国際貢献を追究していること、日本が行っている取り組みを、多面的に捉えさせ、国際的に大きな役割を担う日本のあり方を考えさせるよう配慮されている。 ・毎時間設定されている「確認」という使用する語句や字数が指定された説明文を作成する課題や、「ためしてみよう」という課題があり、言語活動の充実に配慮されている。 ・現代社会の諸問題について、生徒が自分の問題として受け止め、考えることができるよう工夫されている。また、日本文化の多様性と伝統文化、世界文化と宗教の多様性について、簡潔にまとめられている。 			
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・各章の導入部に「ためしてみよう」が設けられ、章の学習内容を概観し関心を高め、また、「第〇章を学ぶにあたって」を通して学習の見通せるようになっていく。時事的な資料や大きな写真、新聞等の資料が豊富で、生徒の関心が高められるよう配慮されている。 ・生徒が市長やコンビニエンスストアの経営者となって考えさせる場面を設けるなど、生徒が関心をもって主体的な学習に取り組めるよう工夫されている。各章の最初と最後の時間に取り組む「やってみよう」「トライ！」では、学習の手順（調べ方・まとめ方等）が示されている。 ・身近な地域についての様々な事例・課題が扱われていて、地域の実態に応じた学習活動が行えるよう配慮されている。 			
3 組織・配列等 について	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の教材構成は適切であり、それぞれに配分されている分量や区分も適切である。単元は現代社会、政治、経済、国際社会の順に配列されている。 ・第1章において現代社会の課題や効率と公正、きまりの意義等について学び、以降の各単元や章の振り返りなどにおいても「効率と公正」マークが設けられ、その見方や考え方を活用する課題が示されるなど、系統性について配慮されている。 ・国内外の文化の違いや国家の主権を取り上げる際など、随所に「分野別関連マーク」が設けられ、他分野との関連を意識しながら学習できるよう工夫されている。また、「ちがいのちがい」や環境問題等において他教科との関連が図られている。 			
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・見開きページごとに扱う目安となる時間が「・」「・・」で示されている。 ・横幅の広いA B版を採用しており、写真や資料が大きく掲載されている。 ・東日本大震災を取り上げ、防災の重要性を強調するとともに、地域ぐるみによる取り組みの大切さを知ることができるよう配慮されている。 			

			種 目	社会 (公 民 的 分 野)
教 科 用 図 書 の 記 号 ・ 番 号 ・ 名 称				発 行 者 名
1 年	2 年	3 年	教育出版 株式会社	
公 民 9 3 0 中学社会 公民 とともに生きる				
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 憲法は権力の行き過ぎを防ぎ、国民を守り、基本的人権を目指していることについて理解が深められるよう配慮されている。表現の自由や職業選択の自由、プロ野球のストライキなど様々な資料を掲載し、人権について広い視野から認識させる配慮がなされている。また、社会の中の様々なルールの意味を考えさせ、より多くの人が合意できるルール形成の重要性を理解させようとしている。現代社会の諸問題について説明させたり考えさせたりすることで、社会の諸問題についての関心を高めようとしている。持続可能な未来を妨げる様々な課題とその解決について探究し、レポートを書くことを通して、持続可能な多文化共生社会の形成には、国際協調と国際協力が重要であることを認識させようとする配慮が見られる。 ・ 「学習のまとめと表現」では、表現活動を中心とした学習課題が設定されている。また、「言葉で伝え合おう」では、ディベートやシミュレーション、プレゼンテーション、ポスターセッションなどの表現スキルの習得を中心とした学習を紹介し、言語活動が十分行われるよう配慮されている。 ・ 社会的事象を身近なものとして捉えることができるような課題が設定され、社会参画の意欲が高まるよう工夫されている。また、受け継がれる伝統と文化、宗教の意味、文化や宗教の多様性と問題点について、簡潔にまとめられている。 			
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の導入部の写真資料には「見てみよう」という説明文が記載され、生徒の学習に対する興味・関心が高まるよう配慮されている。 ・ 単元の最初に見開きで単元の学習のねらいを提示しており、生徒の主体的な学習を進められるよう工夫されている。 ・ 学習の最後に「持続可能な未来へ」というテーマを取り扱い、これまでの学習を振り返りながら、現代社会の諸問題を自らの課題として追究できるように配慮されている。 			
3 組織・配列等 について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体の教材構成は適切であり、それぞれに配分されている分量や区分も適切である。単元は現代社会、政治、経済、国際社会という配列である。 ・ ルールがもつ意味や「対立と合意」、「効率と公正」が第1章において扱われ、以後の学習に活用されるよう系統性について配慮されている。 ・ 学習内容に応じて地図や年表等の資料が効果的に用いられている。国際社会の諸問題を考える際などに地理的分野との関連が図られている。また、憲法の学習では、歴史的分野との関連が図られている。 			
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新聞の特色がまとめられていて、その後の学習で新聞記事を活用できるよう配慮されている。 ・ 実際に触って体感できる点字の加工を施している。 ・ 横幅の広いA B版を採用しており、写真や資料が大きく掲載されている。 ・ 東日本大震災や阪神淡路大震災を取り上げ、防災や減災などに取り組む大切さが認識できるよう配慮されている。 			

			種 目	社会 (公 民 的 分 野)
教 科 用 図 書 の 記 号 ・ 番 号 ・ 名 称				発 行 者 名
1 年	2 年	3 年	株 式 会 社 清 水 書 院	
		公 民 9 3 1 中 学 公 民 日 本 の 社 会 と 世 界		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 憲法改正、冤罪事件、ハンセン病患者及び元患者に対する差別、部落差別、児童労働の問題など人権に関する多くの資料を掲載し、人権について広い視野から認識させられるよう配慮されている。少子高齢化、情報化、グローバル化など、現代の社会的事象の学習から、社会の諸問題に着目できるよう配慮されている。また、対立と合意、契約、公正、競争と共生などの学習を通して、現代社会の見方や考え方の基礎を養えるよう配慮されている。主権国家について学習した後、核兵器、地域紛争、人口問題、環境問題、南北問題など地球規模の諸問題について学習することを通して、各国民が協力することが重要であることを認識できるよう配慮されている。さらに、マラさんを取り上げて、国際理解や国際協調の必要性を認識できるよう配慮されている。 ・ 簡潔で平易な説明的文章であり、随所に注釈が設けられている。資料は精選され、本文と資料との関係をつかみやすい。 ・ 考えたり、話し合ったりする視点が示され、言語活動が十分に行われるよう配慮されている。 			
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 序章や本編の導入としてその単元に関係する人物を取り上げ、著書や演説を紹介するなど、興味関心が高まるよう工夫されている。 ・ 学習の最後に「卒業論文を書いてみよう」という課題を設定して、その問題解決に至る方法を示している。主体的な学習を促し、問題解決的な学習に取り組めるよう配慮されている。 ・ 生徒に身近な事例を取り上げたり、身近な生活を調査する学習活動を設けたりするなど地域の実態に応じた学習が行えるよう配慮されている。 			
3 組織・配列等について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体の教材構成は適切であり、それぞれに配分されている分量や区分も適切である。単元は現代社会を序章とし、政治、経済、国際社会という配列となっている。 ・ 現代社会の諸課題を取り上げる部分を序章とし、生徒の積極的な社会参画への意欲を高め、以後の学習に生かされるよう系統性について配慮されている。 ・ 地理的分野・歴史的分野の既習事項を地図や年表等の資料として取り上げ、各分野との関連が図れるよう配慮されている。 			
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「深める公民」というページを設け、学習内容に関連する資料が精選して掲載されている。 ・ 東日本大震災を事例として取り上げ、津波による被害や救助、防災並びに福島第一原発事故にも関連付けて自然災害に対する認識を高めることができるよう配慮されている。 			

			種目	社会（公民的分野）
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1年	2年	3年	株式会社 帝国書院	
		公民932 社会科 中学生の公民より良い社会をめざして		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・ プライバシーの権利、選挙権、公共の福祉、児童虐待の問題、婚外子の相続問題などの身近で新しい資料を掲載することで、個人の尊厳と人権について、広い視野から認識できるよう配慮されている。少子高齢化、情報化、グローバル化、生活と文化、家族生活などの視点から現代社会をとらえさせ、社会の諸問題に対する関心が高まるよう配慮されている。また、「対立と合意」、「効率と公正」を全編強調し、現代社会の見方や考え方の基礎を養うことができるよう配慮されている。さらに、地域紛争や難民問題、地球規模の環境問題などの学習を通して、異文化理解や持続可能な社会の実現の重要性について理解が深まるよう配慮されている。 ・ 毎時間設定されている「確認しよう・説明しよう」や「トライアル公民」では、学習した内容について自分の考えをまとめたり、説明や意見交換をしたりする活動が取り入れられている。また、賛成か反対かの議論を促す資料を掲載するなど、言語活動が十分行われるよう配慮されている。 ・ 「トライアル公民」や「羅針盤マーク」のコラムでは、生徒が社会的事象を身近なものとして捉え、生徒の社会参画への意識が高まるような内容になっている。 			
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各部のはじめに「学習の前に」が設けられ、その部で学習する内容を概観することができるよう配慮されている。また、「第〇部で学ぶこと」のコーナーには、今後の学習の見通しが記載され、学習意欲が高まるよう配慮されている。 ・ 企業の企画書を書く課題や、持続可能な社会についてのレポートを作成し、発表する課題が設けられている。課題探究の計画・課題の調査等の手順を示し、生徒が主体的に課題探究に取り組めるよう配慮されている。 ・ デザインやグラフ、地図資料などにおいて、極力模様などを入れず、配色のみで区別できるようにしたほか、折れ線グラフでは、線を太くするなどの工夫がなされている。文字をはっきり読み取ることができるユニバーサルデザインフォントが使用されている。 			
3 組織・配列等について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体の教材構成は適切であり、それぞれに配分されている分量や区分も適切である。単元は現代社会、政治、経済、国際社会という配列である。 ・ 小単元のまとめのページに「学習の前に」を振り返るコーナーが設定されていたり、第5部で行うレポート作成の課題例を示したりして系統性をもって学習に取り組めるよう工夫されている。 ・ 地理的分野、歴史的分野での学習内容を生徒が意識的に振り返ることができるよう、各所に「地理・歴史をふりかえる」として関連するキーワードが記載されている。 			
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本文の記述が日本国憲法の第何条に関わっているのかが脚注に明記されている。 ・ 横幅の広いA B版を採用しており、写真や資料が大きく掲載されている。 ・ 東日本大震災や阪神淡路大震災を取り上げ、地域ぐるみで防災に取り組む重要性が認識できるよう配慮されている。 			

			種 目	社会 (公 民 的 分 野)
教 科 用 図 書 の 記 号 ・ 番 号 ・ 名 称				発 行 者 名
1 年	2 年	3 年	日 本 文 教 出 版 株 式 会 社	
公 民 9 3 3 中 学 社 会 公 民 的 分 野				
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> 政治に関わる身近な問題について、人権との関わりについて考えさせたり、公正の視点から考えさせたりすることにより、政治学習への関心を高め、民主主義への理解が深まるよう配慮されている。また、ユニバーサルデザインやバリアフリー、ネット社会など人権に関する新しい話題を取り上げた資料を多数掲載することにより、広い視野から個人の尊厳や人権尊重の意義について理解できるよう配慮されている。「私たちと現代社会」では、「対立と合意」「効率と公正」など現代社会を捉える見方や考え方の基礎が重点的に扱われ、理解が深まるよう配慮されている。持続可能な社会の実現のためのレポートを作成する学習活動が設定され、視点として、人権、平和、伝統・文化、日本の政治と経済、環境科学技術などが挙げられている。 毎時間設定されている「学習の確認と活用」や随所に配置されている「言語活動コーナー」では、学習内容をもとに考えをまとめたり、説明したりする活動が取り入れられている。また、ブレインストーミング、ディベート、ロールプレイなど、多様な活動を取り入れ、言語活動が十分に行えるように配慮されている。 体験学習やシミュレーションなどの活動を通して、生徒が社会的事象を身近なものとして捉え、生徒の社会参画への意識が高まるよう工夫されている。 			
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 各編の初めに「ナビ」が設けられ、そこでの学習の基礎となる考え方を学べるように工夫されている。また、教科書に直接書き込める欄を設けたり、生徒に身近な写真や資料を掲載したりするなど、生徒が興味・関心を持って学習できるよう配慮されている。 各編の最初に「〇〇ナビ」(政治・経済・レポート作成等)があり、大きく学習内容を捉えようとしている。その単元の学習の進め方が詳しく示されており、生徒の主体的な学習を促し、問題解決的な学習に取り組めるよう配慮されている。 各章で生徒に身近な例を多様に示しており、地域の実態に応じて学習に取り組むことができる。 			
3 組織・配列等について	<ul style="list-style-type: none"> 全体の教材構成は適切であり、それぞれに配分されている分量や区分も適切である。単元は現代社会、政治、経済、国際社会という配列である。 第1編の現代社会の学習において「対立と合意」、「効率と公正」などの現代社会の見方や考え方の基礎を理解させ、章末の「学習の整理と活用」では、「合意」に関して繰り返し吟味する場を設けるなど、系統性について配慮されている。 年表や地図を豊富に掲載し、地理的分野や歴史的分野との関連が図られている。また、「関連コーナー」が随所にあり、地理的分野、歴史的分野をはじめ小学校での学習内容との関連が一目でわかるように工夫されている。 			
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> 「情報スキルアップ」のコーナーで、生徒が情報を集めたり、読み取ったりするときに必要な知識や技能を掲載している。 バリアフリーを説明するページで、実際に触って体感できる点字の加工を施している。 横幅の広いA B版を採用しており、写真や資料が大きく掲載されている。 東日本大震災を事例として取り上げ、地域の助け合い「共助」の大切さを知ることができるよう配慮されている。 			

			種 目	社会 (公 民 的 分 野)
教 科 用 図 書 の 記 号 ・ 番 号 ・ 名 称				発 行 者 名
1 年	2 年	3 年	株式会社 自由社	
公 民 9 2 7 新しい公民教科書				
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・先人の努力によって基本的人権が獲得されてきたことや、憲法によって国家を運営することにより、それらの権利を守ろうとする立憲的民主政治の意義について理解が深まるよう配慮されている。また、日本人拉致問題や年金問題、裁判員制度、国連改革などについて詳しく解説され、社会の諸問題に対する生徒の関心を高める配慮がなされている。さらに、国旗と国家や我が国の領土に関する資料が豊富に掲載されており、主権国家についての理解を深めようとする配慮が見られる。 ・各章末に、各章の内容に関わる課題について、400字でまとめる活動が設定されている。ディベートについて詳しく解説され、言語活動が十分行われるよう配慮されている。 ・「もっと知りたい」では、生徒の学習意欲と、社会の一員としての自覚が高まるよう配慮されている。序章から第1章にわたり、伝統や文化、宗教について詳細に述べられている。 			
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・導入部の写真やグラフ、関連する人物、「ミニ知識」での用語の説明等が随所にあり、生徒の興味・関心が高まるように配慮されている。 ・章末には「学習のまとめと発展」があり、「学習のまとめ」では各章の最重要語句の確認ができるよう配慮されている。 ・レポートと卒業論文を作成して発表する学習や、ディベートで議論の方法を学ぶ学習が設定されている。作成の手順や実践例が紹介されており、生徒が主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。 			
3 組織・配列等について	<ul style="list-style-type: none"> ・単元は大きく現代社会、政治、経済、国際社会という配列であり、現代社会と政治を2つに分けた構成になっている。 ・どの単元においても「対立と合意」、「効率と公正」の見方・考え方について繰り返し取り上げられており、その見方・考え方を学習の中で活用できるよう、系統性に配慮されている。 ・歴史的分野で学習した内容を公民的分野の学習と関連付けた記述が各所に見られる。また、様々な国を紹介するなど、地理的分野との関連についても配慮されている。 			
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> ・政治に関する学習の前段階として、「立憲国家と国民」という単元が設けられている。 ・全体を通して、生徒が人類の歴史と現代社会との関連を意識できるよう工夫されている。 ・B5版である。 			

			種 目	社会 (公 民 的 分 野)
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1 年	2 年	3 年	株式会社 育鵬社	
公民 934 [新編]新しいみんなの公民				
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 納得するケーキの分け方や交通信号などの身近な事例から法治主義について理解させ、法を守ることによって人権が保障されることの理解が深まるよう配慮されている。ネット社会や少年法、外国人参政権など人権に関わる様々な事例も紹介され、人権について広い視野から認識できるよう配慮されている。また、現代社会の見方や考え方の基礎として、「対立と合意」、「効率と公正」について学び、その観点から社会の諸問題に着目できるよう配慮されている。 ・ 「やってみよう」では、ディベートやプレゼンテーション、ロールプレイなどの活動が紹介され、言語活動が十分に行われるよう配慮されている。 ・ 「考えよう」「やってみよう」のコーナーを設けたり、現代社会の諸問題についての事例を挙げたりすることで、生徒が社会の一員としての自覚を高めることができるよう配慮されている。また、日本文化の特色と世界の伝統文化、宗教の多様性と問題点等について、豊富な写真や資料を交えながら、詳細に述べられている。 			
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒に身近な多くの事例を示して考えさせたり、話し合わせたりするなど、生徒の学習への興味・関心を引き出すための配慮されている。 ・ 新聞記事を多数掲載したり、新聞の社説を比べる（社説に関するディベート例を提示）など、生徒が生きている社会を教材にすることで、生徒の主体的な学習を促し、問題解決的な学習に取り組めるよう工夫されている。 ・ ふりがなは、ゴシック体を用いている。 			
3 組織・配列等 について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元は現代社会、政治、経済、国際社会の順で配列され、政治を2つに分けた5章構成になっている。 ・ 第1章において「対立と合意」、「効率と公正」を取り上げ、その見方・考え方が以後の学習に活用されるよう、系統性について配慮されている。 ・ 地理的分野・歴史的分野の既習事項が地図や年表等の資料として取り上げられ、効果的に活用されている。また、伝統文化や家族生活、環境問題を取り上げる際に、他教科と関連が図られている。 			
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「時間軸（縦軸）」と「空間軸（横軸）」が示され、これまで学習してきた地理的分野、歴史的分野などの学習内容と、これから学習していく公民的分野の学習内容を整理しやすいよう工夫されている。 ・ 「自分の過去・現在・未来シート」があり、自分と社会の関わりについてより具体的にイメージできるよう工夫されている。 			

令和 2 年度使用中学校用教科用図書
調査研究資料
(報 告 書)

地 図

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

			種目	社会（地図）
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1年	2年	3年	東京書籍株式会社	
地図 723 新編 新しい社会 地図	地図 723 新編 新しい社会 地図	地図 723 新編 新しい社会 地図		
観点	調査の結果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域の全体図に「注目したい記号」が示され、地域的特色を考えるための視点が絞り込めるよう工夫されている。 ・「基本資料」のページでは、自然・人口・産業などの内容について、他地域との比較をしながら地域的特色が読み取れるよう、ほぼ同配列で取り上げられている。さらに、「テーマ資料」において地域的特色に関連する資料を取り上げ、地域の独自性が読み取りやすいよう工夫されている。 ・挿絵、写真、図表、グラフ等は、内容に即して適切に配置されている。また、資料中に多くの情報を盛り込まず単純化することで、視点が絞りがやすくなるよう工夫されている。 			
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・産業地図記号や動物・特産物等の挿絵、写真などが豊富に使われ、生徒に親しみやすく分かりやすくなるよう工夫されている。 ・多くの写真資料が取り上げられているだけでなく、東京オリンピックやご当地キャラクターの資料図など、生徒の興味・関心を高めるよう工夫されている。 ・「基本資料」「テーマ資料」の2部構成となっており、2部では主題図や統計資料が豊富に掲載され、発展的な学習にも対応できるようになっている。 ・一つ一つのグラフが大きく、色彩も絞っており、視覚的に配慮されている。 			
3 組織・配列・分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・世界全図、世界全体テーマ資料、世界の諸地域、日本の諸地域、日本全体テーマ資料、統計、索引、日本全図と、学習指導要領の配列に即して構成されている。 ・世界、日本ともそれぞれ「一般図」、「基本資料」、「テーマ資料」で構成されており、必要な資料が探しやすいよう工夫されている。 ・歴史的な写真資料が多く掲載され、巻末には遺跡・史跡の索引が掲載されるなど、歴史的分野の学習でも地図を活用できるよう工夫されている。 			
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> ・目次において、災害の写真を取り上げているページには印がつけられており、授業を行う際の配慮について記載されている。 ・同社発行の「新しい社会 地理」の学習内容と連動するように資料配列がなされている。 			

			種 目	社会 (地図)
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1 年	2 年	3 年	株式会社 帝国書院	
地 図 7 2 4 中学校社会科地図	地 図 7 2 4 中学校社会科地図	地 図 7 2 4 中学校社会科地図		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・主題図「ながめてみよう」が、各地域の全体図と部分図の間に配置されており、生徒が地域を概観しながら地域的特色についての見通しを持ち、主題図を活用して地域的特色を考察することができるよう工夫されている。 ・「地図をみる目」のコーナーにおいて、全体図、部分図、主題図への読図のポイントを示している。そのため、生徒が読図を通して地理的な見方や考え方の基礎を身に付けることができるよう工夫されている。 ・挿絵、写真、図表、グラフ等は、内容に即して適切に配置されている。 ・地域の特徴や文化、生活、産業などが視覚的に大観できる見開きの「鳥瞰図」があり、地域の特徴を視覚的に捉えることができるよう工夫されている。 ・「資料図」のページでは、各地図の縮尺をできるだけ統一し、異なる内容を並列に配置することで、比較・関連させて考えられるよう配慮されている。 			
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・イラスト、歴史的事象に関わる記号、写真、挿絵などが豊富に使われ、生徒に親しみやすく分かりやすくなるよう工夫されている。また、鳥瞰図や模式図が豊富に用いられ、生徒の関心を視覚的に引きつけるよう工夫されている。 ・巻頭に「地図帳の使い方」が設けられており、一般図、資料図、統計や索引の見方や使い方が定着できるように配慮されている。 ・各地域、地方ごとに全体図、部分図が豊富に掲載され、それに関する自然、人口、産業、生活、文化などの主題図が偏りなく数多く掲載されているため、発展学習にも対応できる工夫がなされている。 ・高さごとに色分けした等高段彩表現により、土地の起伏が自然とわかる。 			
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・世界全図、世界全体のテーマ資料、世界の諸地域、日本の諸地域、日本全体のテーマ資料、統計、索引、日本全図で構成されている。学習指導要領の配列に即して構成されており、進度に応じて使いやすくなるよう工夫されている。 ・世界、日本それぞれで、広域地図、地域の詳細を示した地図、資料図が配置されており、必要な資料を生徒が探しやすくなるよう工夫されている。 ・東京や京阪神、広島などにおいては、都市の拡大図が充実している。これにより、歴史的分野や公民的分野においても活用できるよう、工夫がなされている。 ・日本の領土・領域に関するページ、日本の災害・防災に関するページが新設され、最新の資料に基づいて学習できるよう工夫がなされている。 			
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・書き込みがしやすい紙質になったため、授業で取り上げた地理的事象などを生徒が書き込みしやすいよう配慮されている。 ・具体的な企業名や建築物名が実名で記載されており、生徒が身近に感じられるよう配慮されている。 			

令和2年度使用中学校用教科用図書
調査研究資料
(報 告 書)

数 学

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

			種 目	数 学
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1 年	2 年	3 年	東京書籍 株式会社	
数学 728 新編 新しい数学1	数学 828 新編 新しい数学2	数学 928 新編 新しい数学3		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎的・基本的な知識・技能の習得のために、段階的なステップを踏んだ内容を扱っており、着実に定着・習得できるよう配慮されている。 ・ 全国学力調査などで課題が見られる内容について、スパイラルな学習ができるよう丁寧に取り扱われている。 ・ 事象を数理的に考察する力を高めるために、数や図形の性質を見つけたり、日常生活における問題が取り上げられたりしており、数学の有用性も実感できる内容になっている。 ・ 横断的・多方面での題材を扱うことにより、数学を学ぶ意義や生涯にわたって学び続けようとする態度の育成を意図した内容になっている。 ・ 数学的活動の楽しさや数学のよさを感じさせるために、見いだす活動・利用する活動・説明し伝え合う活動が取り上げられ、楽しさが味わえるよう工夫されている。 ・ 多様な考えを伝え合い深めていく言語活動を行えるよう配慮された内容となっており、数学的な思考力や表現力育成の一助となっている。 ・ 表現力の育成には「数学マイノート」として、ノートの書き方や感想の書き方を例示する工夫がなされている。 			
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の発達の段階が考慮され、小学校の学習で再確認しておきたい内容については「ちょっと確認」で既習内容を振り返って確認できるよう配慮されている。 ・ 「基本の問題」や「まちがい例」を示すことで、早期につまずきを解消するよう配慮されている。特に「まちがい例」では誤りを指摘し、説明する等、言語活動の充実の目的も担っている。 ・ 導入のページに生活の中の数学的な事象が多く取り上げられている。また、学習内容に関連した興味深い話題を取り上げる等、工夫されている。 ・ 補充的な学習や発展的な学習も「もっと学習」や「発展」として取り扱われており、学習をさらに広めたり深めたりできるよう工夫されている。 ・ 「学び合い」のページでは、多様な考えを伝え合い深めていく活動が取り上げられている。巻末に考え方が掲載されており、生徒が家庭学習で利用しやすいよう工夫されている。 			
3 組織・配列等 について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習内容の系統性を重視し、スパイラルな学習や内容のつながりを意識した配列になっている。また、単元間の融合問題や総合的な問題など、発展的な内容にも取り組めるよう配慮されている。 ・ 基本的な問題では、「例」の次に「たしかめ」「問」を配置しており、適切な分量での内容理解や演習が行えるようにしてある。巻末の「補充の問題」を利用することで、個人差に対応して問題量を追加できるよう配慮されている。 ・ 単元ごとに既習した単元名が示されたり、「学びをつなげる」としたこれまでの学習内容の確認や学び直しができるよう配慮されている。 ・ 「社会とつながる」や「教科とつながる」において、実生活での数学の活用についての題材や他教科の学習に関連する題材が扱われている。また、キャリア・環境・防災・安全・福祉・国際理解等を考えるきっかけとなる題材も取り扱っている。 			
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全ページにわたって文節改行が取り入れられ、すべての生徒が読みやすい紙面構成になるよう配慮されている。 ・ 1単位授業が1ページや2ページで行なえるよう、学習内容が配列されるなど工夫されている。 ・ カラーユニバーサルデザインの観点から、専門家による校閲を受けており、識別しやすい配色を用いるとともに、色だけに頼らない指示が行えるよう配慮されている。 ・ 特別支援教育の観点からも専門家による校閲を受け検証されており、レイアウトの工夫・改善が行われている。 ・ 巻末「もっと数学しよう」には多彩な学習内容が数多く取り上げられている。また巻末課題編では、科学雑誌の手法を用いたレイアウトを行うなど、興味・関心を惹きつける工夫がなされている。 			

令和2年度使用（中学校）教科用図書調査研究報告書

			種 目	数 学
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1 年	2 年	3 年	大日本図書 株式会社	
数学 729 新版 数学の世界1	数学 829 新版 数学の世界2	数学 929 新版 数学の世界3		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習活動ごとに「～しよう」という学習のねらいを明示し、生徒の学習意欲を高めようとしている。 ・ 基礎的・基本的な知識や技能の習得のために、例題の解説や問題は穴埋め式となっていて生徒に考えさせる内容になっている。 ・ 章末の練習では基本的な問題のA応用的な問題のBがあり、段階的に学習することができる。また、練習問題のページには振り返って学習できるよう、学習したページが明示されている。 			
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭には「教科書の使い方」や「数学の世界へようこそ」など主体的な学習を促すためのページを設けている。 ・ 問の後には「プラスワン」があり、難易度の高い問題にチャレンジできるようになっている。 ・ 数学的活動を、新たな規則性や性質を見つける活動の「見いだそう」、学んだことを日常生活で利用する活動の「利用しよう」、気づいたことや分かったことを自分なりに説明する活動の「伝えよう」の3つに分類して示している。 			
3 組織・配列等 について	<ul style="list-style-type: none"> ・ すべての単元に必ず「～の利用」という「節」が設けられている。 ・ 章末には「いろいろな問題」や「挑戦しよう」などの発展的な課題があり、学習内容の活用や多様な考え方を高められるようになっている。 ・ 4領域の系統性に配慮した内容になっている。もくじには「これまでに学んだこと」として各単元に関連のある内容が明記されている。 ・ 巻末の「Mathful」では各単元の学習内容と関連する様々な話題が取り上げられている。数学の歴史やスポーツ、アートなど生徒が興味を引く内容である。 			
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「社会にリンク」では実社会で活躍する人物による数学の活用例を載せている。日常生活や職業と、自らの数学を結びつけて語る社会人の思いが生徒の興味をひくものとなっている。 			

			種 目	数 学
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1 年	2 年	3 年	学校図書 株式会社	
数学 730 中学校数学1	数学 830 中学校数学2	数学 930 中学校数学3		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「Q」、「例」、「問」という段階的な手順で学習することにより、基礎的・基本的な学習が身につくように配慮されている。 ・ 各節末の問題は「確かめよう」で基本的な学習事項を確認し、「計算力を高めよう」で反復練習ができるようになっている。 ・ 各章末のまとめの問題は「基本」「応用」と段階的に基礎的・基本的な学習内容を身に付けられるよう工夫されている。 ・ 単元の導入では話し合い活動、観察、操作や実験を取り入れ、数学的活動を通して単元の学習に入るように工夫されている。また、単元のまとめでは「活用」「深めよう」が設けられ、単元で学習したことを用いて数学的活動の楽しさが味わえるよう工夫されている。 			
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各単元の導入のページでは、親しみやすい写真や絵を多く使用し、数学的活動を通して章に入るよう工夫されている。 ・ 「クローズアップ」では、生徒が疑問に思うであろう内容について丁寧に説明している。 ・ 「さらなる数学」発表の仕方やレポートの書き方を提示し、自分の考えをまとめることを中心に扱っている。 			
3 組織・配列等 について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目次には小学校の学習内容との関連をわかりやすく明示している。 ・ 学習に取り組みやすいような単元や内容の構成がされている。 ・ 巻頭ではノートを取り方やレポートの書き方など学習の仕方について触れている。 ・ 各領域の前に設けられた「ふりかえり」のページでは、既習事項が簡潔にまとめてあり、新しい単元にスムーズに入れるように工夫されている。 ・ 巻末の「さらなる数学へ」では、様々な課題を協同で解決していく方法と、課題の内容をわかりやすく提示している。 			
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・ ページ右側に各章ごとに色を付け、速やかにページが開けるよう工夫されている。 ・ 巻頭の「数学で使われる考え方」では、3つの考え方「類推的な考え方」「帰納的な考え方」「演繹的な考え方」を、具体例を利用して示し、数学的な考え方を説明している。 			

			種目	数 学
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1 年	2 年	3 年	教育出版 株式会社	
数学 731 中学数学1	数学 831 中学数学2	数学 931 中学数学3		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 章の入口には既習内容を確認する問題、出口では基礎的・基本的な内容をまとめるページが設けられ、数学の基礎的な概念や原理・法則を理解し、数学的な表現や処理の仕方を習得できるよう工夫されている。 ・ 学習したことを活用する課題、多様な考え方ができる課題、自分の考え方を説明したり解決の仕方をみんなで話し合ったりする課題が設けられ、事象を数理的に考察し表現する能力を高められるよう工夫されている。 ・ 数学を日常生活や社会に利用する課題や話題が数多く掲載され、数学の実用性を知り、数学のよさを実感できるよう工夫されている。 ・ 自分の考えを説明したり、他者の考えを聞いたりする場面が数多く設けられ、他者とのコミュニケーションを通して、自分の考えを広げたり深めたりすることのよさを実感できるよう工夫されている。 			
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 適宜、既習内容が取り上げられ、既習内容を基にして考える姿勢が定着するように本文の展開・記述が工夫され、小学校算数をふくむ既習内容と系統性への配慮がされている。 ・ 生徒が興味・関心を抱く課題や数学に関連する知識、数学の歴史的・文化的な話題が掲載され、興味・関心に応じて主体的に取り組めるよう工夫されている。 ・ 学習したことをさらに深めたり広げたりする課題や、基礎・基本の定着を図る問題などが豊富に掲載され、生徒の実態に応じて取り組めるよう工夫されている。 ・ 「章のとびら」では、章の学習の必要性を実感することのできるような話題を扱うなどの工夫がされている。 			
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各単元の導入で既習内容が確認できるよう配慮されている。「導入」「各節」「学習のまとめ」「章の問題」と合理的に構成されている。 ・ 4領域の系統性を配慮した単元が配列されている。2年・3年の「裏見返し」では、図形のまとめが一覧になっており、既習内容の確認ができるなど系統性に配慮されている。 ・ 巻末にある「自由研究」では、環境問題や福祉、身の回りのものを題材として、これまでの学習内容を活用する場面が取り上げられている。 			
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理解を深めることができるように、視覚的にも見やすく、わかりやすい紙面に配慮されている。 ・ 小・中間のギャップを軽減するために、1年の1章・2章については、他の章と比較してやや文字を大きくするなどの工夫がされている。 ・ 栃木県の面積を求める問題（1年）、県内のテーマパークの写真の掲載（3年）など、郷土愛が高まるよう配慮されている。 			

			種 目	数 学
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1 年	2 年	3 年	株式会社 新興出版社 啓林館	
数学 732 未来へひろがる数学1 数学733 未来へひろがる数学 MathNaviブック1	数学 832 未来へひろがる数学2 数学833 未来へひろがる数学 MathNaviブック2	数学 932 未来へひろがる数学3 数学933 未来へひろがる数学 MathNaviブック3		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「問」と「基本のたしかめ」の問題を充実させ、基礎・基本が確実に身につくように配慮されている。 ・ 学習の場面での重要な見方・考え方や、数学的な思考をひろげていく課題設定の視点を、「見方・考え方」の看板に入れて意識付けできるように配慮されている。「千思万考」では、論理的に考える力・工夫する力・連想する力などを身につけられるような工夫がされている。 ・ 数学的活動が「節の導入」「ひろげよう」など随所で取り上げられ、充実している。巻頭の「学習の進め方」では、数学的活動を根底においた学習の進め方を紹介するなどの工夫がされている。 ・ 「自分のことばで伝えよう」や「みんなで話し合ってみよう」では、説明し伝え合う活動として取り組めるような場面が取り上げられるなど工夫されている。 			
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 系統性を考え、既習の内容をもとに新しい学習内容へとスムーズに発展していけるように「ひろげよう」を設定し、新たな内容を学習する際にはすでに学習した関連する内容を「ふりかえり」で取り上げて理解を深められるよう工夫されている。 ・ 「くり返し練習」では多くの問題が用意され、くり返しによって習得・定着が図れるよう配慮されている。また、習熟、応用のためには「まとめ問題」を用意し、学習の総仕上げができるよう工夫されている。 ・ 数学的活動を取り入れた「学習のとびら」を節ごとに設定し、興味・関心をもって主体的に数学を見だし発展させていけるよう工夫されている。 			
3 組織・配列・分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各学年において、特に重要な指導内容が1つの「節」として取り上げられ、解けない問題があったときは学び直しができるように既習の内容やページ数が表記されているなど、教材構成が工夫されている。 ・ 4領域の系統性に配慮した単元が配列され、「裏見返し」では各学年のまとめが一覧になっており既習内容が確認できるよう工夫されている。 			
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> ・ Math Naviブックにより、習熟度別・少人数指導など多様化する学習形態に対応し、主体的な学びが可能になっている。 ・ P1には「保護者の方へ」が掲載され、学校―地域―家庭との連携が促されている。 ・ 全国学力・学習状況調査A・B問題の結果に対応している。 ・ 具体的なコンピュータの利用場面や協働学習の場面、環境・エネルギーに関する課題が用意されているなど、日本の中学生をとりまく環境の変化に対応している。 			

			種 目	数 学
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1 年	2 年	3 年	数研出版 株式会社	
数学 734 中学校数学1	数学 834 中学校数学2	数学 934 中学校数学3		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数学的活動を促すような場面が多く設定され、数学的活動の楽しさや数学の良さを感得させる配慮がなされ、生徒自らが主体的に学べるよう工夫されている。 ・ 「伝え合おう」というマークが示されている発問を通して、数学的に説明し合う活動が取り上げられ、言語活動の充実を図りながら思考力、表現力の育成が図れるよう工夫されている。 ・ ガイドキャラクター「ちえき」「なびい」「くう」がそれぞれの役割でコメントを随所に配置し、学習を深めたり、注意しなければならないことを確認したりできるよう工夫されている。 			
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭にまとめられている「クイックチャージ」により、既習事項の確認が容易になるとともに、「ドリルでチャージ」を利用して基本的な問題による学び直しが可能になるよう工夫がされている。また、既習事項と関連する内容については、ふりかえりができるようページ数などが記載されている。 ・ 本文内の「問」、まとめの問題「確かめよう」、章末の「基本問題」、巻末チャレンジの編の「確認しよう！」などにより十分な演習量が確保されており、学習内容の定着が図れるよう工夫されている。 			
3 組織・配列等 について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4領域の系統性を配慮した単元が構成されている。また、各単元の導入である章とびらでは、身近な話題を扱い、その単元に生徒が興味をもつような内容となっており、その章の学習事項をイメージできるよう工夫されている。 ・ 各項目の初めに目標が示されており、学習の見通しが立ちやすくなるような配慮がなされている。 ・ 巻末にある「数学探究」では、既習事項を活用してものごとを考えたり、身の回りの事象から数学を見いだしたりできるような話題が取り上げられており、日常生活における数学との関連を知ることで、生徒の興味・関心を喚起するよう工夫されている。 			
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校1年生では、アルファベット表記についての注意が記載されている。 ・ ノートをとる際の注意点を明記したページが設けられている。更に、本文内に、ノートをとる際に注意したいことがらを示す「NOTE」マークが示されている。 			

令和2年度使用（中学校）教科用図書調査研究報告書

			種 目	数 学
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1 年	2 年	3 年	日本文教出版 株式会社	
数学735 中学数学1	数学835 中学数学2	数学935 中学数学3		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「見つけよう」「やってみよう」「考えよう」というマークを付けた、新たな性質を見つける活動や学んだことを活用して考える課題を通して、思考力の育成が図れるよう工夫されている。 ・ 巻頭の「数学の学習で大切なこと」では、「考えを伝え合おう」という項目で言語活動へ取り組む際のアドバイスがなされている。そして、「説明しよう」というマークを付けた課題を通して、言語活動の充実が図れるよう工夫されている。 			
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 章末に、基礎的な技能の問題である「くり返し練習」が設けられており、授業での補充や家庭での復習に活用することができる。また、やや難易度の高い問題である「とりくんでみよう」が設けられ、個に応じて取り組むことができるよう工夫されている。 ・ 巻末の「力をのばそう」には、全国学力・学習状況調査で正答率が低かった問題を参考にした「A問題」、「B問題（活用）」、思考力をのばすための「いろいろな問題」が設けられており、活用する力や思考力の育成が図れるよう工夫されている。 ・ 各単元の最後に設けられている「章のたしかめ」では、問題ごとに観点が示されており、自己評価できるような配慮がなされている。 			
3 組織・配列等 について	<ul style="list-style-type: none"> ・ もくじでは、学習の系統性を把握できるように、各章の内容と関連する既習事項が示されている。また、各章の初めに、「～を学ぶ前に」という、関連する既習事項の確認のための問題や公式等が記載されたページが設けられており、小中の連携や学び直しができるよう工夫されている。 ・ 「生活への利用」や「数学のたんけん」などで学習した内容と身の回りの事柄を関連付ける内容や興味のもてる話題が取り上げられ、数学への興味・関心が高められるよう工夫されている。 			
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統と文化を数学と関連付けた内容や国際理解を深められる内容を取り上げ、我が国を愛する心や他国を尊重する態度を養うことができるよう工夫されている。 ・ 全てのページの右側に、章ごとに色付けされており、ページが速やかに開けるような工夫がなされている。 			

令和2年度使用中学校用教科用図書
調査研究資料
(報 告 書)

理 科

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

令和2年度使用 (中 学 校) 教科用図書調査研究報告書

			種 目	理 科
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1 年	2 年	3 年	東京書籍 株式会社	
理科727 新編 新しい科学 1	理科827 新編 新しい科学 2	理科927 新編 新しい科学 3		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項をもとに「レッツトライ！」などで新しい課題を見出して予想を立てたり、観察・実験・実習の操作について手順を追って取り組めるようすることで、目的意識を高めるよう工夫されている。 課題を解決す手立てとして「推測しよう」「予想しよう」などの項目を設け、科学的な思考力・判断力が育成されるよう工夫されている。 「学びを活かして考えよう」「学んだことをつなげよう」で活用場面を設定し、次時の学習につながるように知識の体系化を図られている。 「科学でGO！」などで私たちの身のまわりとの関連を図り、応用・発展につながるよう配慮されている。 各章のはじめと終わりに「before&after」を設け、単元学習後に生徒自身の言葉でまとめられるようにするなど言語活動がしやすいように工夫されている。 			
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 図やイラストが大きく、見やすく工夫されている。 計算を伴う内容は、例題などがあり、非常に丁寧に解説されている。 実験や観察の説明が細かく、丁寧に分かりやすい。 各単元ごとに「確かめと応用」「確かめと応用（活用編）」が設定され、主体的に学習できる内容になっている。 			
3 組織・配列等 について	<ul style="list-style-type: none"> 目次のページに「学習内容のつながり」各章のはじめと本文の欄外に「これまでに学んだこと」が豊富に示され、既習事項を振り返りやすくなっている。 各単元の初めに「この単元で学ぶこと」として、単元の見通しが示されている。 実験に使用する器具は、特殊なものでなく、入手しやすいものが取り上げられている。 各単元末では「from Japan ニッポンの科学」では、日常生活との関連が示されている。 			
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> 「探究の流れの例とこの教科書の使い方」が各学年の巻頭で扱われている。 惑星の見える時間帯を数年間にわたり記載するなど、継続的な観察や年間を通しての定点観測が取り扱われている。 教科書の関連する箇所にコンピュータ等の活用を促進する学習が例示されている。 アイスランドの噴火などのパラパラ写真が載せられている。 巻末の索引に「発展的な学習内容の一覧表」が記載されている。 ペーパークラフトの巻末付録があり、原理や法則の理解を深めるための「ものづくり」の機会が設けられている。世界の活火山分布(1年)、温帯低気圧(2年)、星座早見盤(3年) 導入の簡単な活動を行う「レッツトライ」や家庭でもできる観察・実験「どこでも科学」が掲載されている。 「科学と人の物語」「未来への宿題」「ニッポンの科学」など、読み物教材で興味・関心を高めるようにしている。 			

令和2年度使用（中学校）教科用図書調査研究報告書

			種 目	理 科
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1 年	2 年	3 年	大日本図書株式会社	
理科728 新版 理科の世界1	理科828 新版 理科の世界2	理科928 新版 理科の世界3		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・観察・実験・実習が数多く掲載され、「やってみよう」や「もっと」などでより深く、広がりのある課題解決ができるように工夫されている。 ・観察・実験の次頁に、「実験の結果」や「結果からわかること」などの見出しを設け、生徒が得た観察・実験の結果について比較できるよう配慮している。 ・「話し合ってみよう」の項目を設け、話し合い活動を促し、考察などをより深める言語活動が行えるよう工夫がされている。 ・「くらしの中の理科」「学んだことを活かそう」では日常生活との関わりが示され、理科の有用性が実感できるように配慮されている。 			
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・計算を伴う内容では、例題と解答例が分かりやすく示されている。 ・終章「学んだことを生かそう」では、既習事項の振り返りができると共に、それらを活用できるよう工夫されている。 ・各単元の導入では生徒が活動する内容をイラストや写真を使い、興味・関心を高めている。 ・実験や観察では、「注意!」と分かりやすく表記されていて安全面が配慮されている。 			
3 組織・配列等について	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の初めには、「これまでに学習したこと」として小学校から学習した内容を簡単に振り返り、「これから学習すること」で単元の見通しがもるよう工夫されている。 ・理科の学習内容と日常生活との関連が記載されている個所が多くある。 ・身近で安価な用具を用いて実験が行えるよう、工夫されている。 			
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭で、生徒向けに教科書の使い方や探究のしかたについて、教師・保護者向けに発展の取扱いや教科書の説明について記載されている。 ・巻末で郊外の施設の活用について触れ、いくつかの科学館や博物館が紹介されている。 ・各学年の巻頭の部分に継続観察・観測が取り扱われている。 ・巻末に「トピック」などの細かい索引がある。 ・単元ごとと基本操作にインデックスが付けられている。 			

令和2年度使用（中学校）教科用図書調査研究報告書

			種目	理科
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1年	2年	3年	学校図書 株式会社	
理科729 中学校科学1	理科829 中学校科学2	理科929 中学校科学3		
観点	調査の結果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・「話し合ってみよう」「思い出してみよう」から課題について予想をし、観察・実験を行う目的を明確にしているとともに、「Let's try」や「チャレンジ」で生徒の主体的な取り組みが促されるように工夫されている。 ・観察・実験の次頁に「結果」と「考察とまとめ」の見出しが設けられ、結果と考察を比較でき、科学的な思考力が身につくように配慮されている。 ・「?問い」などで学習内容を活用・表現することに取り組めるよう配慮されている。 ・日常生活や学習内容との関連が図られた「科学の窓」が適切に配置され、実感を伴った理解となるよう工夫されている。 			
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元が始まる前に「これまで学んできたことをチェックしよう」が必ず1ページあり、振り返りやすい。 ・各単元の始めには日常的な場面を設け、関心・意欲を高めている。 ・単元末の「科学を仕事に活かす」では既習事項を活かした職業の紹介があり、将来への興味・関心に繋げている。 ・実験や観察の「注意!!」が強調されていて、分かりやすい。 			
3 組織・配列等について	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の実態に応じて単元の学習順序を組み替えることを考慮して、各学年の前半に1分野、後半に2分野を配置している。 ・表紙の見開きには、年間の見通しが示されている。 ・単元の初めでは「これまでに学んできたことをチェックしよう」として、既習事項を確認することができる。また「これから学ぶこと」も簡潔にまとめられている。 ・理科の学習内容と具体的な職業との関連が記載されており、社会科や総合的な学習の時間との関連が図られている。 			
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> ・3年「天体観測ソフトを利用しよう」など、教科書の関連する箇所にコンピュータを利用できる場面が示されたり、巻末資料「タブレット端末の利用」が全学年に掲載されたりしている。 ・巻末に各学年の内容に応じた参考となる資料がいくつかある。 ・気象観測のような継続観察・観測がいくつか取り扱われている。 ・2年の巻末に「原子カード」が付録されている。 			

令和2年度使用（中学校）教科用図書調査研究報告書

			種目	理科
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1年	2年	3年	教育出版 株式会社	
理科731 自然の探究 中学校理科1	理科831 自然の探究 中学校理科2	理科931 自然の探究 中学校理科3		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・「話し合おう」「予想しよう」から解決策や予想を立て、目的意識をもって取り組めるようにしたり、実験・観察の手順について見出しを設け安全かつ正確に行えるように工夫したりしている。 ・観察・実験の結果、考察およびまとめが次ページに記載され、生徒がまとめたものと比較することで、科学的に探求する力を育成されるように配慮されている。 ・「ハローサイエンス」では身近な生活と関連が図られ、生徒の体得した知識が体系化されるように配慮されている。 			
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の始めには、身近な現象や不思議な現象をダイナミックな写真で紹介し、興味・関心を高められるよう工夫されている。 ・各単元の終末には「要点と重要語句の整理」が細かく記載されており、振り返りのポイントがつかみやすい。また、それらを元に「基礎・基本問題」「活用・応用問題」では学習内容の演習ができる。 ・「話し合おう」「考えよう」「調べよう」で問題解決について導き、「活用しよう」では既習事項を活用して思考できるよう工夫されている。 			
3 組織・配列等 について	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の実態に応じて単元の学習順序を組み替えることを考慮して、各学年の前半に1分野、後半に2分野を配置している。 ・単元初めの「学んでいくこと」に既習事項と学習の見通しが示されている。また、本文の欄外に「思い出そう」が豊富に示され、簡潔な文章で説明されている。 ・裏表紙には、1年間で学習した内容と自学年で学習する内容が対比できるように工夫されている。 ・巻末に「理科で使う算数、数学」が掲載されている。 			
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末付録があり、原理や法則の理解を深めるための「ものづくり」の機会が設けられている。(カメラ作成シート(1年)、原子のモデルカード(2年)、星座早見作成シート(3年)) ・巻末に「その学年で学習した内容」が分野ごとに明示されている。 ・表紙にしっとりとした手触りの良い材質の紙が使用されている。 ・1年生の巻頭で「なぜ理科を学ぶのか」、「理科学習の進め方」について説明されている。 ・巻末で郊外の施設の活用について触れ、いくつかの科学館や博物館が紹介されている。 ・単元ごとにインデックスがあり、章ごとのタイトルがページ下に併記されている。 ・各学年の巻末に「自由研究」の進め方が掲載されている。 			

令和2年度使用（中学校）教科用図書調査研究報告書

			種目	理科		
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名		
1年	2年	3年	株式会社 新興出版社 啓林館			
理科732 未来へひろがるサイエンス1 理科733	理科832 未来へひろがるサイエンス2 理科833	理科932 未来へひろがるサイエンス3 理科933				
未来へひろがるサイエンス1 マイノート	未来へひろがるサイエンス2 マイノート	未来へひろがるサイエンス3 マイノート				
観 点	調 査 の 結 果					
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふり返し」の項目では、小学校からの既習事項を振り返えらせ、課題に対して予想を立てやすくし、さらに観察・実験の「目的」を明示したり、観察・実験の方法を「ステップ」を設けて、取り組みやすいように工夫している。 ・「別の方法にトライ」で複数の観察・実験方法を提示するなど生徒が主体的に取り組めるように工夫されている。 ・「考えてみよう」や「話し合ってみよう」などの見出しを設け、話し合い活動や発表の場面が展開できたなど、理科における言語活動が活発に行われるように配慮されている。 ・発展的な課題として「活用してみよう」や日常生活や最新技術と関連した「ひろがる世界」を設け、理科の有用性を実感したり、科学的な見方や考え方がより深まるように工夫されている。 					
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・マイノートがカラー刷りになっていて、分かりやすく、見やすい。また、「実験〇へのアプローチ」「実験〇からのアプローチ」が構成されていて、実験導入や振り返りを確認しやすい。 ・青色シートを利用できることで、学習のまとめの振り返りがしやすい。また、色覚特性への対応ができています。 ・資料の数が多いため、生徒の意欲・関心を高めることに繋がる。 ・実験・観察の「目的」が明確化されており、生徒が意識して臨むことができる。 ・実験・観察の安全性の意識しやすいように、見やすく工夫されている。また「ポイント」の表記があり、見逃しやすいことや分かりづらいことも明確化させている。 					
3 組織・配列等 について	<ul style="list-style-type: none"> ・1、2年生では、1分野の内容が、「物質・エネルギー編」に、2分野の内容が「生命・地球編」にまとめられ、配列が工夫されている。また、3年生では1分野と2分野の内容を融合した単元である「環境編」が構成されている。 ・単元の初めに「単元のねらい」が示されている。また、「振り返り」が示され、既習事項が確認しやすいように工夫されている。 ・裏表紙見開きには、各学年の学習内容を広げるような工夫がある。 ・巻末見開きには、日常生活や社会との関連が発達段階に応じて記載されている。 					
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・図や表に工夫がある。 例) いろいろな小さな生物(同じ縮尺にした合成写真で大きさが明瞭) ・継続観察・観測が、各内容に応じていくつか取り扱われている。 例) 硫酸銅が水にとけていく様子の観察 ・科学の話題や興味深い活動を扱った「部活ラボ」、「科学偉人伝」、「先人の知恵袋」などがある。 ・「巻頭・巻末資料」、「サイエンス資料」、「器具の使い方」、「発展」などの詳細な目次がある。 ・単元や巻末資料ごとにインデックスがあり、章ごとのタイトルが併記されている。 					

令和 2 年度使用中学校用教科用図書
調査研究資料
(報 告 書)

音 樂
(一 般)

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

令和2年度使用（中学校）教科用図書調査研究報告書

		種目	音楽（一般）
教科用図書の記号・番号・名称			発行者名
1年	2・3年		教育出版 株式会社
音楽725 中学音楽1 音楽のおくりもの	音楽825 中学音楽2・3上 音楽のおくりもの	音楽826 中学音楽2・3下 音楽のおくりもの	
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・表現及び鑑賞教材がバランスよく取り入れられ、音楽活動に主体的に取り組める工夫がなされている。 ・各教材で学習目標が2つ提示され、学習内容が把握しやすい配慮がされている。 ・「音のスケッチ」では発達段階に応じ創作活動が行えるよう工夫され、内容が充実している。 ・学習資料が豊富で、補充的・発展的な活動ができるよう工夫されている。 ・鑑賞教材は、短い時間でも学びの多い曲、生徒に親しみやすい曲となっている。口絵の鑑賞教材の資料も、鑑賞を深める手立てとなる。我が国の音楽の作品の解説が詳しく書かれており、理解を深めることができる。 ・「歌のアルバム」は、生徒の発達段階に応じ、親しみがもてる選曲になっている。 		
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・1～3年すべてに全校合唱「ふるさと」が取り上げられ、各学年に応じたアレンジとなっており、全校や学年、学級の実態に応じて選択できるよう工夫されている。 ・写真がたくさん掲載され、学習内容についての理解を深めることができる。 		
3 組織・配列等 について	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年「音楽の要素を捉えながら」「さまざまな音楽文化～日本と世界」「歌いあわせ聴き深める喜び」の三つの柱で音楽的能力が身に付くよう工夫されている。 ・表現と鑑賞の関連が図られており、特に我が国の音楽については、箏の体験活動などの発展的な学習に結びつけている。 		
4 本書の 特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・「私たちのくらしと音楽」では、著作権についてや音楽療法など、社会生活との関連が図られている。 ・折込ページが挿入され、1年生では「日本の民謡」2、3年上では鑑賞曲の楽譜、2、3年下では「くらしとともにある さまざまな音楽」など、カラーで見やすい資料が多く取り上げられており、より発展的な活動ができるように工夫されている。 ・「肖像で見る音楽年表」では、作曲家の活躍した時代が一目でわかる工夫がされている。 		

		種 目	音楽(一般)
教科用図書の記号・番号・名称			発行者名
1 年	2・3年		株式会社 教育芸術社
音楽727 中学生の音楽 1	音楽827 中学生の音楽 2・3上	音楽828 中学生の音楽 2・3下	
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・表現及び鑑賞教材をバランスよく取り入れ、幅広く多様な音楽活動に主体的に取り組める工夫がなされている。 ・全ての教材で学習目標が大きく示されているとともに、それに迫るための学習活動の手順を示し、学習内容が把握しやすい配慮がされている。 ・「ここが分かればGrade Up!」や「音楽の約束」など、基本的・基礎的な学習の定着と向上が図れるよう工夫されており、思いや考えを伝える言語活動が十分行える配慮もされている。 ・「心の歌」として日本の歌曲を取り上げ、作詞者・作曲者の言葉を効果的に掲載するとともに、芸術的な美しい写真を添えることで生徒の感性を刺激し、作者の心情に迫れる工夫がされている。 ・小学校での学習内容を踏まえ系統的に発展させ学習できる配慮がなされている。 ・我が国や諸外国の音楽では、大きめの写真やわかりやすい解説を載せ様々な角度でそれらのよさが味わえるように工夫されている。 ・「心通う合唱」では数多くの合唱曲が掲載され、各学年の発達段階や実態に応じた選択ができるように配慮されている。 ・カラー写真やイラストを多く使用し、生徒がイメージしやすく、音楽の美しさや楽しさを十分感じ取ることができるよう配慮されている。 		
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の共通教材もあり、小学校とのスムーズな接続や系統的発展学習がしやすく配慮されている。 ・歌い継ごう日本の歌では全校合唱曲として「ふるさと」が掲載され、各学年に応じたアレンジとなっており、行事等で全校・保護者・地域の方々とともに歌えるよう工夫されている。 ・「My Melody」では、3年間を通して創作活動が徐々に深まるよう工夫されている。 ・「覚えているかな」では、既習内容を生かした補充学習ができたり、吹き出しが設定されたりしており、学習のヒントを得やすくなり、生徒が主体的に取り組めるよう工夫されている。 		
3 組織・配列等 について	<ul style="list-style-type: none"> ・表現と鑑賞教材の関連が図られているとともに、1つの題材の中にいくつかの活動が取り入れられるよう配慮されている。 ・「音楽学習MAP」で学習の全体像がわかりやすく示されている。また、「音楽の窓口」では共通事項を支えとした学習がしやすいように配慮されている。 ・「ここが分かればGrade Up!」等が適宜掲載され、生徒が興味をもって基礎を確認し定着・発展できるよう工夫されている。 ・教材に関する国や地名・曲の背景・写真やイラスト・詩の内容等から、社会科や美術科・道徳科等との関連が図れるよう工夫されている。 		
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・色彩豊かで、美しいカラー写真を多く取り入れてあり、生徒がイメージしやすいよう配慮されている。 ・命の大切さや郷土愛・他を思いやる心等、教材の歌詞や内容から道徳的観点との関連が深い教材が多く取り上げられている。また、曲の背景を知ることによって社会科との関連、美しい写真からは美術科との関連等も図ることができる。 ・「ルールを守って音楽を楽しもう」など著作権の特集もあり情報モラル教育との関連が図られている。 ・耳でたどる音楽史では、世紀や時代とともに日本と西洋を並列させるとともに作曲家の肖像画を組み入れ、理解しやすくまとめられている。 		

令和2年度使用中学校用教科用図書
調査研究資料
(報 告 書)

音 樂
(器樂合奏)

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

		種 目	音楽(器楽合奏)
教科用図書の記号・番号・名称		発行者名	
1～3年		株式会社 教育出版社	
器楽773 中学器楽 音楽のおくりもの			
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・各楽器の説明や演奏方法がカラー写真でわかりやすく丁寧に取り上げられている。 ・教材が示されてある楽譜の余白に運指が示されていて、随時確認しながら取り組むことができる。 ・音楽（一般）で取り上げられている教材を楽器で表現できるよう工夫されている。 ・実態に応じて楽器を選択できるよう楽器編成上の表記が工夫されている。 		
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・アルトリコーダーの教材が豊富で、やさしいものから難易度の高いものまでを段階的に楽しめるように工夫されている。 ・写真が多く掲載され、姿勢や奏法等がわかりやすく示されている。 ・「名曲旋律集」は、生徒にとって親しみやすい曲で構成され、関心が持てるよう工夫されている。 ・巻末にあるギター・キーボードコード表は、生徒が必要に応じて見られるよう分かりやすく示されており、発展的な学習の手立てとなっている。 		
3 組織・配列等 について	<ul style="list-style-type: none"> ・色彩豊かで配置がよい。曲名と楽譜に目を向けやすく、生徒が集中して学習できるよう配慮されている。 ・それぞれの楽器がバランスよく配列され、目次は、学習内容が一目でわかりやすく構成されている。 ・リコーダーでは、タンギング・左手・右手・サミング・アーティキュレーションといった基礎的事項が提示され、学習の重ねで表現力が豊かになるよう工夫されている。 		
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・色彩豊かで、カラー写真が多く、基本的な奏法の解説が写真とともにわかりやすく示されている。また、「Let's Play!」「Let's Try!」では、各教材の学習のめあてが示されていて、学習しやすくなっている。 ・和楽器については、音楽（一般）で取り上げられている教材と関連する教材が掲載され学習を深めることができる。 ・様々なジャンルの曲が選曲され、幅広い学習活動ができるよう配慮されている。 		

		種 目	音楽(器楽合奏)
教科用図書の記号・番号・名称		発行者名	
1～3年		株式会社 教育芸術社	
器楽774 中学生の器楽			
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・各楽器の説明や演奏方法がカラー写真でわかりやすく丁寧に取り上げられている。また、楽譜がシンプルにまとめられており、見やすい。 ・各楽器における学習の導入時に、「音を聴いて確かめよう」「Q&A」形式のコラム「楽器を知ろう」等が示され、生徒が興味関心を高くもち、意欲的に取り組めるための工夫がされている。 ・「Let's play instruments!」では、楽器の特性や基本的奏法及び特徴やよさを感じ取ることができる教材が示されており、創作の学習や我が国の伝統的な音楽など幅広い学習ができるよう工夫されている。 ・アンサンブルでは、発達段階・習熟度・及び生徒数等学校の実態に即した選曲ができるように大小様々な編成の選曲がなされ、多数掲載されている。 		
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・アルトリコーダーの基礎教材が充実しており、使用する音域を楽譜で示し無理なく生徒の習熟度にあわせた学習を進めることができる。 ・音楽(一般)の教科書との関連曲が多く、生徒の興味関心が持てるよう工夫されている。 ・8小節程度の単旋律から重奏まで幅広い楽曲が取り上げられ、発達の段階に応じて教材が選択できるよう工夫されている。 ・「名曲スケッチ」では、作曲者の肖像画と解説・エピソード等がまとめられ、関心をもち主体的に取り組める工夫がされている。 ・巻末にあるリコーダー運指表は見開きで見やすく、諸用語・記号のまとめが音楽の約束として一覧になっており、調べ学習がしやすく配慮されている。 		
3 組織・配列等 について	<ul style="list-style-type: none"> ・色彩豊かで配置がよい。曲名と楽譜に目を向けやすく、生徒が集中して学習できるよう配慮されている。 ・「Let's play instruments! (リコーダー・ギター・和楽器各種・打楽器)」「アンサンブルセミナー」「アンサンブル」「名曲スケッチ」と、大きく4つの内容で扱いやすく構成されている。 ・それぞれの楽器がバランスよく配列され、基礎・基本的なものから多様なアンサンブルまで豊富に曲が取り上げられている。また、系統的・発展的に取り組めるよう配慮されている。 		
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・色彩豊かで、カラー写真が鮮明である。曲名や題材が大きく割り付けられ、楽譜が見やすくレイアウトされている。また、「音を聴いて確かめよう」・「Q&A」形式のコラム・「楽器を知ろう」等が示され学ぶ意欲を高めたり、深めたりする工夫がされている。 ・「Let's play instruments!」では、各楽器の特性を理解しつつ、基本的な奏法の解説が写真とともに分かりやすく示されている。また、「アンサンブルセミナー」では、各教材の学習のめあてが大きく示されているとともに、学習活動のステップがわかりやすい文章で示され学習しやすくなっている。 ・和楽器各種の特徴やよさが写真とともに豊富に掲載され、アンサンブルの中にも和楽器を用いた教材がある等配慮されている。 ・多様な音楽に触れられるよう、クラシックからポピュラー、我が国の伝統音楽、諸外国の民族音楽など様々なジャンルの曲が選曲され、幅広い学習活動ができるよう配慮されている。 ・音楽学習MAPで目次を分かりやすく視覚化している。 		

令和2年度使用中学校用教科用図書
調査研究資料
(報 告 書)

美 術

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

令和2年度使用 (中 学 校) 教科用図書調査研究報告書

		種 目	美 術
教科用図書の記号・番号・名称			発行者名
1 年	2・3 年		開隆堂出版 株式会社
美術 726 美術 1	美術 826 美術 2・3		
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・作家や生徒の作品が幅広く多面的に提示され、多様な見方を与えることで、生徒の発想や構想が豊かになるよう工夫されている。 ・国や時代によって考え方の違う作品を見開きや原寸大で掲載することと、作品の背景や表技法などを説明することで生徒の理解が深まるように工夫がなされている。 ・生徒のアイデアスケッチや、授業の様子の写真、問いかけやつぶやきを取り入れられ表活動が身近に感じられるようになっている。 ・制作のようす、手がかりや基礎的技法を示し、理解しながら制作していく手助けとなるようになっている。 ・各題材で制作された作品をどこにどのように展示するかまで考えさせる教材がある。 		
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生の導入で、美術の制作の流れを紹介しており、美術の活動が身近に感じられるよう工夫されている。 ・絵の具などの道具の使い方も美術1巻末に収録されていて、技能の向上につながるようになっている。 ・版画の町鹿沼市という観点から版画の取り扱いを見てみると、美術1では、コラグラフの技法が2・3では、抽象表現の中でスチレン版画が主に紹介されている。 ・木工の町鹿沼の観点から、美術1の「材料を生かして」で木やねんどの制作を、美術2・3で「木で作る工芸」で木工芸品の紹介がある。 		
3 組織・配列等 について	<ul style="list-style-type: none"> ・学年の発達段階に応じて、「絵や彫刻」「デザインや工芸」「鑑賞・資料」の視点で、バランスよく構成されている。 ・題材ごとに、4つの観点のふりかえりのポイントも示していて学習内容がわかりやすくなっている。 ・2年生3年生の取り扱い内容を一冊の本にしている。そのことにより、効率よく学習が進められるようになっている。 ・年間授業時数をふまえ、それぞれの分野がバランスよく配置されている。かつ、表現技法も数多く紹介されており、各学年の発達段階につながりも配慮されている。 ・地域の中で美術が生かされている作品が紹介されており、生活と美術を考えさせるようになっている。 		
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・2年生と3年生が一冊にまとめられていて、2・3年生の一体化した学習をしやすいとしている。 ・鑑賞では、その作品についての鑑賞のきっかけとなる問いかけがあり、考えを深めることと、言語活動を活発にするための手助けとなっている。 ・鑑賞においてテーマが同じで異なる表現のものを並べ、比べることでより深く観察できるよう工夫されている。 ・美術2・3の巻頭に、美術の力を生かして社会で働く先輩の話があり、美術を学ぶことへの意欲がわくようになっている。 ・原寸大のページがあり、筆のタッチや技法も鑑賞することができるようになっている。 ・右下にふりかえりがあり、授業のあとの自己評価の手助けになっている。 		

		種 目	美 術
教科用図書の記号・番号・名称			発行者名
1 年	2・3 年		光村図書出版 株式会社
美術 727 美術 1	美術 827 美術 2・3		
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・導入の部分で、美術とは何だろうとの問いかけに対し、様々なジャンルの作品や用具、授業の様子などから、美術に興味をもちやすくなっている。 ・紹介してある作品が生き生きとしており楽しいものが多く、関連する記事もコラムとして囲み、興味関心を持ちやすい。 ・生徒の活動の様子やコメントも効果的に使われ制作を身近に感じることができる。 ・作品例を綴じ込みで大きく見せ、文学的な詩を添えるなど感性を刺激する工夫がなされている。 ・各巻の巻末の資料のところで学習を支える資料として、用具の扱いや技法、鑑賞をまとめて扱っており、参考にできるよう配慮されている。 		
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・2冊で構成された教科書に、発達段階に応じて1年生では見て感じたものから、2年生3年生では空想や不思議な世界、思いや社会との関わりへと発展していく題材で構成されている。 ・版画の町鹿沼市という観点から版画の取り扱いを見てみると、美術1で扱われていて、川上澄生の作品も紹介されている。木版の彫り方も年賀状として取り扱われている。また、2・3では、「浮世絵から学ぶ江戸の職人技」で多版多色刷りの技法として、江戸時代の絵師、彫り師、刷り師のことが詳しく扱われている。 ・木工の町鹿沼の観点から、美術1「木のぬくもりと暮らす」で木の器を取り上げ、木で作ることと工芸品を紹介しているのはよい。 		
3 組織・配列等 について	<ul style="list-style-type: none"> ・各巻とも、絵や彫刻、デザインや工芸、順にページが構成されている。鑑賞についてはその関連ページに挿入されている。 ・学習を支える資料が各巻とも巻末にあり、技法や道具の扱いなどまとめて紹介している。 ・題材ごとに、4つの観点の目標を明示し目的意識を持って取り組めるようになっていいる。 ・美術の教科書に詩を多く取り入れ、感性を磨くとともに国語科との関連もはかろうとしている。 		
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・2年生と3年生が一冊にまとめられていて、広範囲に内容が検討でき前後のつながりや系統性を考えた指導がしやすい。 ・道徳の学習との関連内容がページ下に表示されていて、どんなことに配慮して授業を行うかわかりやすい。 ・裏表紙のバーコードも楽しく表現されており、デザインの学習への興味がわく工夫がされている。 ・国宝には◎の印をつけわかりやすくしてあり、たくさんの国宝が教科書に取り上げられていると実感できる。 ・目次のところに「この教科書で使われているマークについて」というものがあり、意識することで知識が広がり考えを深めることができる。 ・「特別展示室」という大胆な見開きのページを設け、作品の迫力を伝えようとしている。 		

		種 目	美術
教科用図書の記号・番号・名称			発行者名
1 年	2・3 年		日本文教出版 株式会社
美術 728 美術 1 出会いと広がり	美術 828 美術 2・3上 学びの深まり	美術 829 美術 2・3下 美の探求	
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校3年間を通して、自分を取り巻く生活、自然、社会、環境などを対象に幅広く学習活動が展開できる構成になっている。また、自己を見つめる学習活動にも配慮されている。 ・多様な美術文化を題材や教材として取り上げている。生活のあらゆる場面に美術の力が働いていることをわかりやすく伝える工夫がなされている。「日本の美術」の歴史や文化への理解が深まるよう工夫されている。 ・題材ごとに多くの参考作品が掲載されており、作者の言葉が生徒の感性に働きかけるようになっている。また、役立つ資料として基礎的な技法を紹介するなどの工夫がされている。 ・生徒の作業の様子や、アイデアスケッチの例などを掲載し表現活動を身近に感じられるよう工夫がされている。 		
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・3分冊の構成になっており、学年を追うごとに発達段階を考慮して、より充実した学習が展開できるように工夫されている。 ・題材の中で扱う作品は、多種多様で、多くの作品に出会うことで意欲が高められるよう配慮されている。 ・生徒の主体性を促すため、「学びのねらい」を各題材の目標として明示したり、学習の手だてとなる内容を「POINT」という表記で示し、わかりやすくする配慮がされている。 ・版画の町「鹿沼」という視点から、版画の取り扱いを見てみると、美術2・3上で扱われている浮世絵版画は、制作工程がわかりやすく、巧みな技法も紹介されていて興味深い。 ・木工の町「鹿沼」という視点から、美術1の「手でつくる心」で木の制作について、2・3上の「受けつぎつくる人の姿」で工芸品を紹介しているので取り組みやすい。 		
3 組織・配列等 について	<ul style="list-style-type: none"> ・「絵や彫刻」「デザインや工芸」「学習に役立つ資料」の三つの内容を分類し、鑑賞教材を適度に組み込む配慮がされている。 ・美術との出会いから、生活の中に生きる美術、そして社会に広がる美術と、「美術1」から系統的に「美術2・3上下」に発展していく構成になっている。 ・各学年で育てたい力を育成できるよう、題材が意図的に関連づけて構成され、発達段階に応じた指導ができるようになっている。 ・鑑賞では、日本に関するもの、歴史的なものが多く取り上げられている。 ・道徳と関連する題材をマークと文字で明示し、関連付けて指導できるように配慮されている。また、プレゼンテーション能力を育成することを考慮した内容が掲載され、特別活動との関連が図りやすいよう工夫されている。 		
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の教科書は、A4サイズより横幅があり、見開きの作品には、今までにない迫力がある。2・3上「教科書美術館」では、紙質を変えた原寸大の作品を掲載し、実物に近い作品の雰囲気を楽しむことができるよう工夫されている。 ・表紙は色鮮やかでインパクトのある作品が掲載されており、図版は豊富で、大きく見やすい。 ・裏表紙に自分のマークを書き入れる場所があり、親しみが持てる工夫がなされており、デザインの実践を楽しめるようになっている。 ・表現や鑑賞の題材として、日本の伝統・美術文化に関する内容を幅広く取り上げ、理解が深められるよう工夫されている。 		

令和 2 年度使用中学校用教科用図書
調査研究資料
(報 告 書)

保 健 体 育

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

			種 目	保 健 体 育
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1 年	2 年	3 年	東京書籍 株式会社	
保体 725 新編 新しい保健体育				
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的に見開き2ページが「今日の学習」「やってみよう」「本文・資料」「考えてみよう」「生かそう」で構成され、1単位時間の流れができています。 ・「やってみよう」の発問が、授業の導入にとっても有効であり、生徒たちがスムーズに学習に取り組めるように工夫されている。 ・「キーワード」として重要語句が取り上げられ、さらに巻末においてその語句の詳細な解説が書かれており、生徒の理解の深まりが期待できる。 ・「防災」や「安全」に関する資料が豊富に掲載されており、今日的な課題に対する生徒の意識の高揚が図れるようになっている。 ・心肺蘇生法の解説に写真が用いられていてわかりやすい。傷病者発生からAED使用までのチャート図が示され、各段階で何をやるのがわかりやすいようになっている。 			
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・豊富な資料の中でも、特に写真が多く使用されており、生徒の興味・関心を高めるとともに、視覚的に理解を深められるよう構成されている。 ・「今日の学習」において本時の課題が示され、生徒が解決すべき課題を理解した上で、学習に取り組めるよう工夫されている。 ・「やってみよう」で取り上げている内容は、生徒の生活経験から考えたり、記入したりできる内容であり、生徒の興味・関心を喚起するよう工夫されている。 ・「考えてみよう」で行う話し合いや発表などの活動を通して、思考力や判断力、または実践力を養うことができる。 ・章末資料において、生徒の興味の程度に合わせて、さらに知識を広げたり、個に応じた学習に対応したりすることができるようになっている。 			
3 組織・配列等について	<ul style="list-style-type: none"> ・構成配列は、第1学年から第3学年の順に配置され、学年ごとに保健編、体育編で構成されており、生徒が発達段階に応じた内容を学習できるよう構成されている。 ・主に見開き2ページで1単位時間となっていて、学習内容の広がりが期待できる部分については解説や補足資料が準備されており、より学習を深められるよう工夫されている。 ・本文の内容に適した図やイラスト、写真などが適切に配置されており、とても見やすいレイアウトになっている。 ・単元の最後の「章末資料」や「確認の問題」により、学習内容を確認したり理解を深めたりすることができるよう構成されている。 ・「生かそう」の項目では、生徒個人が自己の生活を振り返ったり、学習後の生活において既習事項を役立てたりすることができるよう工夫されている。 			
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> ・写真が多く使われており、生徒の興味・関心を高めるとともに、理解を深められるよう工夫されている。 ・学習内容に関連したクイズが下段に示されており、生徒の興味を高められるような工夫が見られる。 ・章ごとに「確認の問題」が準備され、学習のまとめや家庭学習に役立てることができる。 ・各項目では、「やってみよう」や「考えてみよう」で教科書に直接書き込んだり、グラフを見て考えたりする資料が掲載されており、学習した内容がさらに深められるよう工夫されている。 			

			種 目	保 健 体 育
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1 年	2 年	3 年	大日本図書 株式会社	
保体 726 新版 中学校保健体育				
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・「考えよう」の発問が授業の導入に有効であり、生徒たちがスムーズに学習に取り組めるように工夫されている。 ・章末に学習のまとめとして「重要な言葉」「学習の要点」についての詳細な解説がされており、生徒の理解の深まりが期待できる。 ・応急手当や包帯法などの内容が多く取り上げられており、生徒の知識を広げ、実践力を養うために効果的である。 ・「学習を活かして」は、学んだことを自己の生活に生かすきっかけとなったり、仲間と話し合うことで学習内容を深めたりすることが期待できる。 			
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・インパクトのある写真やイラスト、関連資料が多く掲載され、生徒の興味・関心を高めるとともに、理解を深められるよう工夫されている。 ・補足となる資料が所々に配置されており、その章での学習をより深めるための工夫がなされている。また、その資料が章中にあることで、生徒が速やかに確認できるよう配慮されている。 ・「トピックス」では、学習に関連した話題や読み物が掲載されており、生徒の興味・関心をさらに高める工夫がなされている。 			
3 組織・配列等について	<ul style="list-style-type: none"> ・構成配列は体育編第1学年から第3学年、保健編第1学年から第3学年の順に、適切に配置されている。 ・基本的に1単位時間が見開き2ページで構成されている。文章・解説の量が多く、挿絵やグラフなどもカラーで充実していて、生徒が理解しやすいように工夫されている。 ・各単元のはじめには矢印で学習の流れと学習目標が示されており、最後には「重要な言葉」や「学習の要点」で内容を振り返ることができるように構成されている。 			
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> ・写真やイラストが多く使われており、生徒の興味・関心を高めるとともに、理解を深められるよう工夫されている。 ・学習内容をより深く理解させるために「ミニ知識」が提示されている。それによって生徒の知識を広げることが期待できる。 ・章末資料の「トピックス」の内容が豊富で、生徒の興味・関心に応じた学習の展開ができるよう工夫されている。 			

令和2年度使用（中学校）教科用図書調査研究報告書

			種目	保健体育
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1年	2年	3年	株式会社 大修館書店	
保体 727 保健体育				
観点	調査の結果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・体育編では「運動やスポーツの魅力と学び方」「運動やスポーツの効果と安全」「文化としてのスポーツ」が取り扱われており、カラー写真を多く掲載し、生徒の興味・関心を高め、理解しやすいように工夫されている。 ・医薬品に関する内容では、「医薬品の正しい使い方」として1単位時間の学習内容が示されており、薬の飲み方や効き目について図や資料を用いて分かりやすく説明されている。 ・心肺蘇生法の学習では、写真やイラストが用いられ、チャート図で示されわかりやすくなっている。 ・各項目の最後に、学習のまとめとして項末課題「Try」が設けられ、生徒が学習内容を振り返ったり、さらに考えを深めたりするための工夫がされている。 			
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・各項目のはじめに、「Question」を設け、本時の学習に関連した問いかけや学習内容の挿絵や写真が示されている。 ・随所に「コラム・事例」が示され、生徒の興味・関心を高め、積極的に学習に取り組めるよう工夫されている。 ・「発展」において、興味を深めるさまざまな資料や、現代の健康・環境・安全に即対応できるような内容を掲載し、学習した内容をより深められるようにしている。 ・イラストや写真を用いたり、項目ごとに色分けを施したりするなど、生徒の興味・関心を高められるような内容構成となっている。 			
3 組織・配列等について	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的に各単元2ページで1単位時間が終了する構成になっているが、重要と思われる項目は4ページ構成となっている。前半に体育編の第1学年から第3学年、後半に保健編の第1学年から第3学年の順で構成されている。 ・各章のはじめに、中学生が抱く疑問を掲げ、その章で学習する内容を大まかにつかめるようになっている。 ・各項目のはじめには、学習の動機づけとなる導入発問「Question」を設け、最後には自ら考え・判断し・表現する力が身につくよう項末課題「Try」を設け、学習内容を深め、広げられるよう構成されている。 			
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> ・本文には黄色の地色を敷いて、注釈や図表と区別し、メリハリのある見やすい紙面になっている。 ・「コラム・事例」が随所に適切に配置され、よりわかりやすく、興味を誘う内容となっている。 ・前半の口絵では、日本を代表するスポーツ選手の写真や2020年のオリンピック・パラリンピックの話題で構成され、また巻末の口絵では、人体の骨格・筋肉に加え、神経系や内分泌系のイラストおよびそれぞれの働きについて説明が入るなど、人体のつくりと働きがわかりやすく示されている。 ・ページ下に学習項目に関連したインターネットのURLが示され、情報通信を活用し、より詳しく調べられるようになっている。 			

令和2年度使用（中学校）教科用図書調査研究報告書

			種 目	保 健 体 育
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1 年	2 年	3 年	株式会社 学研教育みらい	
保体 728 新・中学保健体育				
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・各時間、導入の材料として「ウォームアップ」が用意され、本時の学習課題について理解しやすいよう工夫がなされている。 ・各時間の冒頭に「学習の目標」や「キーワード」を設け、その時間の学習内容が明確にされている。 ・各單元ごとの理解をさらに深めるために「情報サプリ」が配置されている。 ・各単元の後に「活用しよう」、章末には「探究しよう」が配置されていることで発展的な学習活動が可能になるとともに、生徒の知識の深まりが期待できる。 ・今日的な課題となっている自然災害については、歴史的な事例が取り上げられているとともに、写真も豊富で生徒の意識の高揚が期待できる。 			
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・多くのイラストや写真等の資料が豊富に掲載され、生徒の興味・関心を高めるとともに、視覚を通じて理解を深められるよう工夫されている。 ・「ウォームアップ」で取り上げている内容は、生徒の生活経験から考えたり、記入したりできる内容であり、生徒の興味・関心を喚起するよう工夫されている。 ・各単元末に「探究しよう」が設けられ、参考になる課題や課題解決の方法が示されており、生徒が主体的に取り組みやすいよう工夫されている。 ・食育に関連付けて、思春期の発育・発達や生活習慣病の予防など、食生活の重要性（早寝・早起・朝ごはん・運動など）について取り上げている。 			
3 組織・配列等について	<ul style="list-style-type: none"> ・構成配列は、保健編の第1学年から第3学年から始まり、体育編の第1学年から第3学年の順に配列されている。 ・基本的に各単元の構成は、2ページで1単位時間が終了するよう構成されている。 			
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> ・ページ下段に「情報サプリ」「リンク」「探究」の項目が掲載され、興味・関心をそそる知識や各項目に合った課題、ホームページのURLなどにより、発展的な学習に役立つようになっている。 ・前半の口絵や本文の写真には最新のものが掲載されており、生徒が共感したり理解を深めたりしやすいよう配置されている。 ・現代社会の今日的な課題についてコラムで取り上げられており、生活や他領域と関連付けて示されている。 			

令和 2 年度使用中学校用教科用図書
調査研究資料
(報 告 書)

技 術・家 庭
(技術分野)

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

		種 目	技術・家庭 (技術分野)
教科用図書の記号・番号・名称			発行者名
技術724 新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology			東京書籍 株式会社
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・実践的・体験的な学習を通して、基礎的・基本的な内容の定着と生徒の個性を生かす工夫がされている。また、「話し合ってみよう」というマークを明示することで、問題解決的な学習や言語活動を通して取得する思考力、判断力、表現力を育成する工夫がされている。 ・ガイダンスの内容が充実しており、学習内容の見通しが立てやすく、生徒が主体的に学習できるよう工夫されている。4つの領域の内容も、「導入」、「基本」、「まとめ」に分けて構成されている。特に、導入の部分では、その内容で学習することについてわかりやすく示されている。 ・目次がわかりやすく工夫されている。各編には、学習内容のつながりを持たせるために「リンク」「他教科」「小学校」などが示されている。また、「Dマーク」が付いているものは、デジタルコンテンツとの対応がされており、より効果的な学習がされるようになっている。 ・各編の最後には、「技術の評価・活用」についてのページが位置づけられ、技術を環境的、経済的、社会的な側面から評価し、活用していく学習ができるようになっている。 ・環境・消費者・情報モラルなどの問題についてもマークなどを付け、考えられるよう工夫されている。情報モラルについては、情報技術のプラス面とマイナス面が比較されわかりやすく示されている。エネルギー問題については、社会的、環境的、経済的など様々な視点から考えさせるよう配慮されている。 		
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階を踏まえ、作業の写真を多く取り入れわかりやすい。また、登場人物を利用して問題の発見や考えるポイントが示されていて生徒が活動に際し安心して取り組める工夫がなされている。また、写真やイラストを多く取り入れ、学習が円滑に進められるような工夫がなされている。 ・「生活に生かそう」というマークを使用し、日常生活において技術をどのように活用したらよいか考えさせるよう工夫されている。また、「技術の匠」マークとともに簡単なコラムやコメントが掲載され、日本の技術について興味を持たせるよう工夫されている。 ・巻頭に「実習を楽しく安全に進めよう」、「安全な作業を心がけよう」という内容を4ページにわたり具体的に取り上げることで、また、実験や作業の場面では、「安全+」、「衛生+」というマークを用いることで、安全に学習が行えるよう工夫されている。 		
3 組織・配列・分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・節の初めに「目標」が示してあり、これをもとに生徒が学習目標を立てやすくなっている。また、イラストなどを利用して説明するなど学習内容が想像しやすくなるよう工夫されている。 ・様々な実習例を取り扱い、学校の実情に応じた対応ができるよう配慮されている。 		
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭には、宇宙開発をはじめ、多くの画像が掲載されている。また、ガイダンスでは、「技術は夢をかなえるためにある」、「技術は未来を創る」、「これからの学習を見てみよう」の順序で構成されている。「技術分野の学習を将来に生かそう」では、様々な職場で働く人の思いが掲載されており、生徒に夢や希望を抱かせるような工夫が多数盛り込まれている。 ・従来のもよりサイズが大きくなったことで、イラストや写真が見やすくわかりやすくなった。 ・各ソフトウェアの操作のポイントが掲載されており、パソコンが不慣れな生徒にも、戸惑うことなく作業できるように配慮されている。 ・巻末の防災手帳は、切り取って使用することができ、防災への備え、防災への取り組みへの一助になるよう工夫されている。 		

		種 目	技術・家庭 (技術分野)
教科用図書の記号・番号・名称		発行者名	
技術 725 新技術・家庭 技術分野		教育図書 株式会社	
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> 実践的・体験的な学習を通して、基礎的・基本的な内容の定着と生徒の個性を生かす工夫がされている。また、ガイダンスでは、4つの領域でどのような学習をしていくかについて、それぞれ2, 3つの項目に分けて概論を述べている。 領域の内容や目標が見出しの下に記載されていて、これからどのような学習を行いどのような課題を解決するのかがわかりやすくまとめている。また、体験的な内容が多く取り入れられていて、その作業内容に対応しながら、基本的な内容を学習できるよう工夫されている。 「やってみよう」、「考えよう」、「調べよう」などが設けられていて、話し合いの題材になるよう工夫されている。 豊富な製作題材、実習例を多く取り上げ、地域や学校に合わせて学べるよう配慮されている。身の回りにある材料を使い簡単にできる例が多く取り扱われ、どの学校でも選択できるようになっている。 大切な部分にはイラストやグラフを用い、分かりやすくしてある。 		
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 発達段階を考え、生徒が手順良く作業できるように写真を用いた実習例にしてある。 「発展」マークを設け、学習内容を十分に理解した生徒が、さらに学習を深められるよう配慮されている。また、「資料」マークでは、学習した内容が確認できるようになっている。 生徒の作業の様子や道具の操作などの写真には見やすいような色合いの工夫がなされている。全体的に生徒が読みやすいような色の工夫がなされている。 生徒が安全に心がけさせたい内容には、「安全」マークを設けている。実習題材や作業場の注意点として、「注意」マークを設けたり、イラストや図を詳細に示したりすることで安全に作業が行えるよう配慮されている。 		
3 組織・配列・分量について	<ul style="list-style-type: none"> 内容については、基礎的・基本的学習内容、実習題材、まとめ、章末問題などで構成されている。本文や説明文の内容型の題材で扱われている場合には、そのページ番号が示され、確認できるよう配慮されている。道具の操作について「基礎技能」として詳しくまとめられていて、それらを利用した実践例へと系統性を持たせるよう配慮されている。 理科の回路実験や社会科の代表的な世界の都市の気候などが記載されており、他教科との関連について配慮されている。また、道徳の勤労の尊さや意義を理解できる題材が取り上げられている。 「材料と加工」、「生物育成」では、様々な実習例を取り扱うことで、生活の中で実践可能な内容が多く、各学校の実情に合わせた活動が行えるよう配慮されている。 		
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> 各内容の最後にまとめを設け、学んだ知識や技術について確認でき、章末問題により定着の度合いがチェックできるよう工夫されている。 日本の伝統的な木製品や工芸品についても関心を持たせるよう樽や桶、御輿についての繊細な技術の説明を載せるなど配慮してある。 巻末には、「世界に誇る日本の技術」と称し、様々な技術製品やそれを製作する場所を示す日本地図を載せ身近なものとしてとらえ、興味を持たせる工夫がある。 		

		種目	技術・家庭（技術分野）
教科用図書の記号・番号・名称		発行者名	
技術 726 技術・家庭（技術分野）		開隆堂出版 株式会社	
観点	調査の結果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・実践的・体験的な学習を通して、基礎的・基本的な内容の定着と生徒の個性を生かす工夫がされている。 ・ガイダンスの内容が充実していることで、学習の見通しを持たせるよう工夫されている。また四つの内容の始めには、大きな写真と技術の役割が示されており、これにより学習内容がわかりやすくなるよう目次が設けられている。また、自己評価ができるように学習の目標が示され、振り返りができるよう工夫されている。 ・題材の最初に「話し合ってみよう」や「調べてみよう」という見出しを設け、問題点などを提議することで、生徒が話し合いを持ってどうしてだろうという気持ちにさせるように工夫されている。 ・各内容における実習の例が多く、地域や学校の実態にあったものを選択できるよう配慮されている。特に、生物育成に関する内容では、栽培する作物を寒冷地と温暖地に分けてあり、前期実習と後期実習にとって選びやすい内容になっている。 ・それぞれの内容終末において、技術と現代社会との課題が設けられており、生徒がそれぞれの課題について考えられるよう配慮されている。 		
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどのページの下部に「豆知識」マークを設け、学んだ内容をさらに深められるよう工夫されている。 ・「調べてみよう」、「考えてみよう」、「観察してみよう」という見出しがあり、生徒が自ら考え学習できるよう工夫されている。また「ふり返り」も設けることで、学習内容を自己評価できるようになっている。 ・写真やイラストなど全体的に優しい色使いで生徒が見やすいよう配慮されている。 ・ガイダンスでは、「作業の安全」について、イラストを利用し分かりやすく扱われている。また、「安全」マークを設け、作業中に気をつける内容については、その都度取り上げられている。 		
3 組織・配列・分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「学習のつながりを考えて学ぼう」というページを設け、小学校での学びと技術分野の学びとのつながりを具体的に説明しており、系統性について配慮されている。さらに、「知る」、「できる」、「考える」の段階に分けられていることで、今後の学習内容が見通せるよう工夫されている。 ・「リンク」マークを使用し、教科名、学年、題材名などが記載されており、他教科との関連がわかるよう配慮されている。 ・様々な実習例が取り上げられ、学校の施設・設備の実情に応じ取扱い可能になるよう配慮されている。道具や工具はどこの技術室でもあるようなものを多く取り上げられている。 		
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> ・各内容のはじめに、その内容についての歴史が年表や写真で示されている。 ・「環境」マークを使用して、技術と環境の関わりについて、説明したり考えさせたりできるよう工夫されている。 ・巻末資料として、各ソフトウェアの操作ポイントが記載されていてパソコンの操作が不慣れな生徒でも操作に戸惑うことの内容に作業できるよう配慮されている。 		

令和 2 年度使用中学校用教科用図書
調査研究資料
(報 告 書)

技 術・家 庭
(家庭分野)

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

		種 目	技術・家庭科(家庭分野)
教科用図書の記号・番号・名称		発行者名	
1 . 2 . 3 年		東京書籍株式会社	
家庭724 新編新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して			
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示された目標および内容に準拠し、必要かつ十分な内容を取り上げていて適切である。 ・調理や布を用いた製作の実習では「基礎技能」を写真でわかりやすく示し、基礎的・基本的な技術の定着が図れるよう工夫している。また、実習例の数も多いので、生徒の興味関心や学校の実態に応じて内容を選択できる。 ・登場するキャラクターからの問題定義やロールプレイングの実習例を充実させ、気づいたり考えたり、伝えたりする能力を高める工夫をしている。 ・日本各地の料理、織物、住まいが数多く掲載されており、生徒が自分の地域の特徴等ととらえることができるように配慮されている。また、日本の伝統、文化への理解を深めることができる。 ・家庭科ならではの独特の言い回しや名称について「言葉のページ」を設けており、生徒がわかりやすく学習を進められるよう工夫している。 ・現代社会における課題について「環境」「消費者」「安全」「防災」などのマークを使用し生徒が関心をもって課題に取り組めるように工夫している。 ・キャリア教育の関連として「プロに聞く」欄を設け、家庭分野の学習と将来や社会とのつながりを感じられるように工夫している。 		
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の「ガイダンス」が充実しており、小学校での学習内容を振り返るとともに、中学校3年間での学習の見通しを持てるよう工夫されている。また、「問題を解決する道筋」が示され、問題解決的な学習方法が定着できるよう工夫されている。 ・随所に「いっしょに学習する仲間」が登場し、生徒の学習意欲を高めると同時に適切なヒントを示すことで、生徒の想像力が膨らむよう配慮されている。 ・写真や図版は生徒の視線を大切にしており、発達段階に応じて理解できるよう、効果的に配置されている。特に、「献立作りと食品の選択」では、手ばかり・目ばかりの資料として食材が、「幼児の生活と家族」では幼児の靴や箸が実物大で示され、生徒の理解を助ける工夫がされている。 ・章末には「学習のまとめ」が示され、学習の振り返りや生活に生かそうとする意欲を喚起する工夫がされている。 ・巻頭に「実習を楽しく安全に進めよう！」を設け、各編の実習の章においても「安全」「衛生」のマークなど、写真やイラストを用いて細かく注意を促している。 		
3 組織・配列等について	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の学習を踏まえた内容を取り扱う場合には「小学校」のマークが示され、小中学校の系統性を意識できるよう工夫されている。 ・「リンク」マークを用い、他の分野で関わりのあるページを示したり、「他教科」マークを用いて他教科との関連についても明記し、横断的に学習内容が理解されるよう配慮している。 ・「幼児の生活と家族」では、実習例として幼児との触れ合い活動について3通りの実習例を示しており、学校の実情に応じて、弾力的に扱えるように工夫をしている。 		
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> ・表紙をはじめ、各ページの構成・配色が明るく、生徒の興味関心、意欲を喚起するのにふさわしい。 ・教科書の幅がA4判になり、実物大の写真も含め写真の数が多く掲載されているので、見やすく実感をもって学習に取り組める。 ・各ページにクイズ形式で学べる豆知識が載っているので、ゲーム感覚で楽しみながら知識の幅を広げることができる。 ・包丁や手縫いの内容では、左利きの例も取り上げられている。 		

		種 目	技術・家庭科 (家庭分野)
教科用図書の記号・番号・名称		発行者名	
1 ・ 2 ・ 3 年		教育図書出版 株式会社	
家庭725 新技術・家庭 家庭分野			
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示された目標及び内容に適合しており、適切である。 ・各内容ごとに「目標」、重要な語句が示されている「キーワードチェック」が示されているので、基礎的・基本的な内容が明確になり、見通しをもって学習に取り組んでいけるような工夫をしている。 ・各内容ともに実習例が豊富に掲載されているので、生徒の興味関心や技能の個人差に応じて選択できるように工夫してある。 ・食文化では全国の郷土料理が一つひとつ説明されて掲載されている。世界に目をむけた資料も多く掲載されており、日本文化の良さを知るとともに、グローバルな視野を広げる工夫をしている。 ・「考えよう」「話し合おう」では生徒の身近な問題を取り上げ、自分の生活をイメージしながら考えを進めていけるように工夫をしている。キャラクターの吹き出しによるヒントが生徒の思考を助けている。 		
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の生活経験に配慮し、写真やイラスト、アニメのキャラクターが用いられている。また、多様な調理器具や食材の切り方を原寸大で掲載するなど、視覚的にとらえやすい表示がみられ、発達段階に配慮されている。 ・「健康と食生活」では、食品の揭示数、調理例、作品例などを写真で数多く掲載し、生徒や学校の実情に合わせて、生徒の興味関心を高めながら実践的、体験的な学習を進める工夫をしている。 ・「参考」マークでは、学習内容をさらに深めるための資料が多く掲載されている。 ・「発展」マークでは、発展的な学習内容を扱っており、生徒の興味・関心に合わせて実践できるよう配慮されている。 ・章末には「学習のふり返し」から「生活の課題と実践」へとつなげ、自分の課題を見つけ、問題解決的な学習が行えるよう工夫している。 ・実習時の安全や注意事項をイラストや写真、「安全」マークを用いてわかりやすく示している。 		
3 組織・配列等 について	<ul style="list-style-type: none"> ・「健康と食生活」では、6つの基礎食品群において、6つのグループを色により区分しており、その色分けを献立作成の学習まで続けて使用することで、関連性が明確に理解できるよう工夫されている。また、食品の数も多く掲載されていて、食材の分量を考える上で参考になる。 ・「リンク」マークにより、技術分野の内容との関連が図られており、また、他教科の学習内容を必要に応じて関連つけて示されている。 ・調理実習における計量器や調理用熱源について、複数の種類を紹介したり、実習例を豊富に示し、学校の実情に合わせて学習できるよう工夫されている。 		
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の口絵では、日本の年中行事がイラストや写真でわかりやすくまとめてある。 ・全体的にキャラクターやイラストが数多く描かれており、生徒の興味関心を高め、楽しく学習を進めていけるような工夫をしている。 		

		種 目	技術・家庭科 (家庭分野)
教科用図書の記号・番号・名称		発行者名	
1 ・ 2 ・ 3年		開隆堂書出版 株式会社	
家庭726 技術・家庭 (家庭分野)			
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示された目標および内容に適合しており、適切である。 ・項目ごとに「学習の目標」が明確に示されており、生徒が目当てをもって授業に取り組めるように工夫している。 ・食文化の学習では無形文化遺産に指定された「和食」を取り上げ、その継承とよりよい食生活の実践力を養っていけるよう配慮されている。 ・各内容ごとに「持続可能な社会をつくる」ページを設け、環境教育とのつながりをもたせることで、持続可能な社会における生活スタイルについて考えられるよう工夫している。 ・日本各地の様々な地域の特徴や日本文化が示されており、日本の良さを認識できる。また、各内容の最後には、グローバルな視点から今の自分たちの生活を考えさせる記事などが効果的に配置されている。 ・「参考」「消費・環境」「防災」「伝統文化」マーク等で現代社会における学習課題や実習例が取り上げられている。特に「災害にあったときの食事は」「安全と防災」のページが設けられ、防災意識が高められるよう工夫されている。 		
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・写真や図表、イラストが豊富に記載され、発達段階を十分に考慮した上で、生徒が具体物をイメージできるように配慮されている。特に、「幼児の生活と遊び」では、幼児の様々な表情をとらえた写真を多く用いてイメージが膨らむよう工夫されている。 ・多様な事例を採用することにより、生徒の生活経験の不足を補えるよう配慮されている。また、キャラクターのつぶやきや吹き出しを多く示し、生徒が主体的に学習を進められるよう工夫している。「豆知識」コーナーでは、学習内容に関して知っておくと便利な情報が記載されている。 ・「健康と食生活」では、食品群別摂取量のめやすに1回の食事で食べやすい量が示してあり、献立を考える際の参考になる。また、食品の実物大写真を載せ、食品への興味関心を高めると共に、食材名の定着が図れるよう工夫されている。 ・巻末に「生活の課題と実践」があり、生徒が学んだことを主体的に生活に生かすことができるような実践例が多数取り上げられ、生徒の課題に合わせて多様な学習ができるよう工夫されている。 		
3 組織・配列等 について	<ul style="list-style-type: none"> ・年間指導計画に合わせた配列になっており、各題材とも基礎的な技術の確認や小学校の既習内容が取り上げられ、小中学校間の系統性が図られている。 ・各学習内容の「学習のまとめ」では、基礎・基本の習得を確認した後、「生活に生かそう」で日常生活に生かせることを考えさせるとともに、「生活の課題と実践」につながるよう展開が工夫されている。 ・「リンク」として、関連する他の内容項目や他教科と関連するものが示され、学習のつながりを意識し、横断的に理解が図れるようにしている。 ・学校の実情に応じて、弾力的に扱えるような実習例・参考例が豊富である。 		
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・裏表紙に各地の伝統野菜が提示されている。 ・包丁の安全な使い方では、材料の押さえ方で左利きの場合が図示されている。 ・各ページに関連する豆知識が載っており、知識の幅を広げることができる。 ・多様な職業の人からのメッセージが「参考」で示されているので、キャリア教育の視点から「進路」や「職業」を考える機会を設けている。 		

令和 2 年度使用中中学校用教科用図書
調査研究資料
(報 告 書)

英 語

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

令和2年度使用 (中 学 校) 教科用図書調査研究報告書

			種 目	英 語
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1 年	2 年	3 年	東京書籍 株式会社	
英語727 NEW HORIZON English Course 1	英語827 NEW HORIZON English Course 2	英語927 NEW HORIZON English Course 3		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・異文化や国際社会、日本の伝統・文化、自然科学や環境、今日的課題（人権、平和、共生など）と多岐にわたる題材が扱われている。 ・1年では各UnitのPart末に4技能それぞれを活用する活動が、2・3年ではUnit最後のActivityにおいて複数の技能を関連づけた活動が設定されている。 ・各学年3回Presentationにおいて4技能を統合した言語活動ができるようになっている。 			
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・1年では文字が大きくブロック体で文章が書かれている。2・3年となると文字の大きさも小さくなり活字体で書かれている。 ・学年ごとのテーマがあり、1年で「出会う」、2年で「見つめ直す」、3年で「広げる」と英語学習を通して学習者の思考を広げる工夫がされている。 ・「まとめと練習」では、文法の復習と、基本的な練習問題が行えるようになっている。 ・「学び方コーナー」では、辞書の使い方や発音記号、英語の音変化等を取り上げ、生徒が自主的により深く学習に取り組めるよう配慮されている。 			
3 組織・配列等 について	<ul style="list-style-type: none"> ・1年の冒頭のHi English!で小学校外国語活動で学習した基本会話表現や単語の復習、Unit 0において、アルファベットや発音の学習が設定されており、中学校英語との円滑な接続が図れるよう工夫されている。 ・2、3年もUnit 0において前学年の復習が行われている。 ・2、3年においては各Unitの構成がStarting Out, Dialog, Read and Think, Activityという流れになっている。Starting Outでは単元の内容に関わる短い文章、Dialogでは対話文、Read and Thinkにおいてより深い読解、Activityにおいては各Unitで学習した内容を用いたListening, Speaking, Writingに重点を置いた活動が置かれている。 ・Daily Sceneでは、様々な場面での会話表現の他、手紙やメール、グリーティングカードの書き方等、幅広い場面での英語の活用方法が取り扱われている。 			
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の大きさがAB版になったのを生かし書き込みスペースがとられている。 ・イラスト等の色使いが落ち着いた。 ・巻末の資料では学年ごとに基本文や表現のまとめ、長文等が組み込まれており、補充また発展学習ができるようになっている。 ・3年Unitの「プラスワン」では本文に登場した入試頻出表現を解説している。 			

令和2年度使用（中学校）教科用図書調査研究報告書

			種 目	英 語
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1 年	2 年	3 年	開隆堂出版 株式会社	
英語728 SUNSHNE ENGLISH COURSE 1	英語828 SUNSHNE ENGLISH COURSE 2	英語928 SUNSHNE ENGLISH COURSE 3		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・会話形式のBasic Dialogで実際の使用場面がより詳しく理解できるようになっている。 ・身の回りの日常生活に起こりうる身近な題材が扱われているので受け入れやすい。 ・今の時代に合ったタイムリーな話題を取り上げている。 ・日本と諸外国の生活習慣、伝統文化、食文化などが豊富に取り上げられており、外国について学ぶだけでなく、自国についての理解を深め、日本のことを諸外国に発信できる内容が多い。 			
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・新文法を含む会話形式のBasic Dialogが1年生では2文、2、3年生では4文となっている。内容に関しても身のまわりの身近なことから環境問題、社会問題など発達に応じたものとなっている。 ・Basic Dialogの分英文量が多くなっている。 ・「英語のしくみ」のページに復習問題があり、簡単な復習ができる。 ・ペア学習やグループ活動を取り入れ、生徒同士で教えあいながら、互いを高め合う協働学習が組み込まれている。 ・POWER UPのページではListening, Speaking, Writing活動における例文が丁寧に表示されている。 			
3 組織・配列等 について	<ul style="list-style-type: none"> ・各プログラムで4技能の基本的な力が身に着くように配慮されている。 ・幼児の言語習得の段階過程と同じ流れを意識した構成になっている。 ・定期的に年に3回My Projectという単元が設けられている。それまでの既習事項を使って自己表現をしたり、意見発表をしたりする単元なので、そこまでにどんなことができればよいのか、それまでの定着度を確認することができる。 ・見開き2ページの中に「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能の習得を配慮した構成となっている。 			
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生の巻末付録（アクションカード）が付いており、授業で活用できる。 ・各学年に「できるようになったことリスト」が付いており、自分の履修状況が自己チェックできるようになっている。 ・Basic Dialogのまとめが巻末資料として設けてあり、会話の練習ができる。（学年が上がるにつれて会話の数が増え、レベルアップしている。） ・音読した回数チェックができる。 			

令和2年度使用 (中 学 校) 教科用図書調査研究報告書

			種 目	英 語
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1 年	2 年	3 年	学校図書 株式会社	
英語729 TOTAL ENGLISH 1	英語829 TOTAL ENGLISH 2	英語929 TOTAL ENGLISH 3		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な話題や学校行事と関わりのある内容が扱われており、生徒の興味・関心が高められるように配慮されている。 ・① We Love People.② We Love the Earth.③ We Love Languages. の3つの視点で題材が選択され、国際的な視野で世界平和に貢献しようとする態度の育成が図られるよう、工夫されている。 ・外国人からみた日本文化（例えば、相撲）が取り上げられるなど、違った角度から自国や他国の文化についての理解を深められるようになっている。 			
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・Activitiesでは、「聞く」「話す」「書く」活動を通して、目標文をはじめとする基礎的・基本的な知識・技能の定着が図れるようになっている。 ・Chapter ProjectやBook Projectが各学年ごとに効果的に組み込まれている。そのため、1年の「自己紹介スピーチ」から3年の「私の人生」に至るまで、段階的に言語活動が展開できるようになっている。 			
3 組織・配列等 について	<ul style="list-style-type: none"> ・言語材料のまとめりごとに、4つのChapterで構成されている。各Chapterには複数のLessonがあり、Lessonは、本文、目標文、ActivitiesからなるSectionと、重要表現を確認・復習するReviewで構成されている。 ・各学年の最後には、1年間の目標となるBook Projectという活動が設定されており、3年間で系統的な指導ができるようになっている。 ・1年の最初に扱う言語材料として、一般動詞が取り上げられている。小学校外国語活動で慣れ親しんできた表現から導入することで、実際のコミュニケーションの場面を意識することができ、英語学習への興味・関心を高められるように工夫されている。 ・小学校外国語活動との円滑な接続が図られるように、Pre-lessonやLet's Startが設定されている。 			
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・Check It Outで、言語材料や文法事項を振り返ることができるようになっている。英文の構成要素ごとに色分けがされており、語順の理解を助ける工夫も見られる。 			

			種 目	英 語
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1 年	2 年	3 年	株式会社 三省堂	
英語 730 New Crown English SERIES New Edition 1	英語 830 New Crown English SERIES New Edition 2	英語 930 New Crown English SERIES New Edition 3		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・GETのPracticeでは、基本文を聞く、話す活動から書く活動へとつなげる工夫がされている。またGETとUSE Readの内容は関連がある。USE Readの内容に関して自分で考えて書いたり話したりする活動が、USE Readの次に設定されている。 ・Projectでは、複数のLessonで習得した言語材料を活用した統合的な活動ができるよう配慮されている。 ・各学年に、自国の文化をはじめ、言葉、将来の夢、自然理解、社会理解、人間理解、他国の文化理解など幅広い領域がバランスよく配置されている。 ・日常生活から、生命の尊重、地雷問題、人種差別問題を取り上げるなど、自国を大切にする考え方と、地球市民としての幅広い考え方の双方を持てるよう題材が配慮されている。 			
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・1ページあたりの英文量は、学年が進むにつれて徐々に増え、取り扱う題材も、身近な話題から感性に訴えかける内容まで幅広く、生徒の興味・関心が高まるよう工夫されている。 ・GETの Drillでは、基本文を「聞く→繰り返し言う→書く」活動があり、生徒が段階を経て基本文の定着を図れるよう工夫されている。 ・「文法のまとめ」ではLessonで学んだ文法事項を確認させ、Projectで4技能を統合させた活動を行い、学習内容の定着を図れるよう工夫されている。 ・Reviewでは、複数の既習文法事項をまとめ、繰り返し学習できるよう配慮されている。 ・For Self-studyにおいて辞書の使い方や単語の覚え方などが示され、生徒が主体的に学習できるよう工夫されている。 			
3 組織・配列等 について	<ul style="list-style-type: none"> ・各Lessonは、学習の見通しを立てる「とびら」、基礎・基本を習得するGET、習得したものを活用するUSE、言語材料を振り返る「まとめ」で構成されている。また、Lessonから独立したLet's Listen, Let's talk, Let's Readが配置されている。 ・年3回、ゴールとなる統合的な言語活動 Projectが設定されている。また、3年間を通して、「会話を続けよう→広げよう→深めよう→導こう」と段階を追って会話表現が身につくようUSE Speakが配置されており、巻末付録にもまとめが掲載されている。 ・小学校外国語活動との円滑な連携を図れるよう、音と綴りを結びつける活動として、Get Ready及びLesson1~3のGetが設定されている。 			
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめのページや巻末付録の「英語のしくみ」は、絵や吹き出しを使って簡潔にわかりやすく説明されている。 ・学習内容の深化、発展に取り組めるように巻末付録が充実している。 ・スムーズなコミュニケーションを促すための手立てとして、巻末付録の「会話表現」が配置されている。 ・読む活動の補充・深化のため様々なタイプの英文が用意されている。また、読みのヒントとなるTips for Readingが掲載されている。 ・後見返しに、自分の力を確認できるようCAN-DOリストが掲載されている。 			

令和2年度使用 (中 学 校) 教科用図書調査研究報告書

			種 目	英 語
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1 年	2 年	3 年	教育出版 株式会社	
英語 731 ONE WORLD English course 1 英語 732 ONE WORLD English course 1 Essentials	英語 831 ONE WORLD English course 2 英語 832 ONE WORLD English course 2 Essentials	英語 931 ONE WORLD English course 3 英語 932 ONE WORLD English course 3 Essentials		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・ Hop, Stepで学習した内容をJumpのTaskで複数の技能を用いて確認できるようになっている。 ・ Lessonの各PartIにListen, Speak, Writeの基本的な言語材料を身につける活動がある。 ・ 日本や世界の様々な国の生活、習慣、文化や社会問題など幅広い内容が取り上げられている。 ・ 日本と外国の比較を挙げたような内容が多く、外国のことについて学ぶと同時に自国の文化や風習について改めて振り返ることのできるような内容である。 			
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分自身のことや友達のことなどの身近な話題から、偉人の人生に至るまで学年の成長段階に応じて考えを深めることができるような題材が取り入れられている。 ・ 巻末にCan doリストが付いており、生徒が自分の達成段階がどの辺なのかを自分で判定できる。 			
3 組織・配列等 について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各LessonともHop, Step, Jumpの3段階で構成されており、Hop, Stepで文法習得のための活動と読む活動を中心に行い、Stepでは振り返り学習や、書く学習、その他技能を総合的に学習できるようになっている。 ・ Writing Tips, Reading Tips, Listening Tips, Conversation Tipsが設けられ、それぞれの技能について知っている役に立つ「コツ」が紹介されており、少しでも文章を長く書いたり、速く読んだり、会話をスムーズにするための手立てが工夫されている。 			
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 別冊付録にEssentialと称するDialogを強化するページや簡単な問題を解くものがあり、基本文や語句の定着が図られるような工夫がされている。 			

令和2年度使用（中学校）教科用図書調査研究報告書

			種 目	英 語
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1 年	2 年	3 年	光村図書 出版株式会社	
英語733 COLUMBUS 21 ENGLISH COURSE 1	英語833 COLUMBUS 21 ENGLISH COURSE 2	英語933 COLUMBUS 21 ENGLISH COURSE 3		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> 各Unitが簡単なリスニングで導入されており、興味をもって学習に取り組めるよう工夫されている。 本文は、教科書に登場してくる4人の中学生が、いろいろな経験や交流を重ねて成長していくストーリーになっている。 幅広い題材に触れることで、自国及び他国の文化とその多様性やものの考え方を尊重する態度を養えるように配慮されている。 			
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 1ページあたりの英文量は、学年が進むにつれて徐々に増えている。 Language Focusでは、各Unitで学習したことが言語材料ごとに整理されており、繰り返し復習できるよう配慮されている。 Your Coachには、辞書の使い方や効果的な音読の仕方、英文の読み方など、具体的な学習方法や解説が掲載されている。これらを活用し、生徒が主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。 			
3 組織・配列等 について	<ul style="list-style-type: none"> 各Unitは、本文、Try It!、You Can Do It! で構成されている。本文とTry It! で、基本文をはじめとする基礎的・基本的な知識・技能の定着が図られるように工夫されており、You Can Do It! でまとめの活動ができるようになっている。 4技能を統合的に使って活動するためのGo for It! が、各学期を目安に、各学年3回ずつ設定されている。 小学校外国語活動との円滑な接続が図られるように、Let's Enjoy English! が設定されている。 			
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> CLIL (Content and Language Integrated Learning: 内容言語統合型)では、他教科等の一部を英語で学習することで、生徒の知的好奇心が高まるよう工夫されている。 巻末付録では、英語のしくみや音声のまとめなどについて、わかりやすく説明されている。 			